



I S O L A
オンウォール

据付工事説明書

もくじ

・安全上のご注意	1～2
・据付け前の確認	2
・施工手順1～17	3～19
・分岐ヘッダ止水栓の取付け	20
・分岐ヘッダ止水栓取付位置	21
・ベース固定用下地の取付け	22
・分岐ヘッダ止水栓と一次配管の接続例	23
・ディッシュプレート、水受けトレイの設置	24
・食洗機の取付け1～2	25～26
・クロスギャラリーの取付け	27
・引出し前板の調整	28
・見付板（丁番）の調整	29
・丁番の着脱	30
・加熱機器の配管方法1～11	31～41
・食洗機の配管方法	42
・製品寸法図／据付け後の点検・清掃・養生／ホルムアルデヒド発散区分	43

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

- 表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

- 本体に同梱されている「取扱説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

警告

トップ等、金属製の製品を取扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

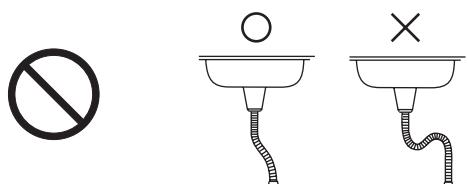
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

⚠ 注意

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



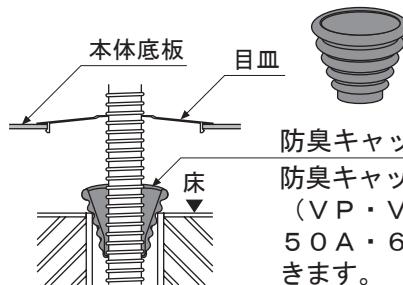
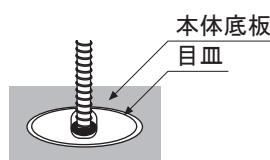
排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。



防臭キャップ

防臭キャップは、塩ビ管(VP・VU) 40A・50A・65Aに使用できます。

水が漏れたり、湿気が上がり、床等が腐る恐れがあります。

据付け前の確認

- ① 注文した製品が納入しているか確認してください。
- ② 配管、配線の確認

- ・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管および、各機器の電気配線が施工されているか確認してください。
- ・設置する床の強度を確認してください。
- ・床の水平レベルを確認してください。

施工手順 1

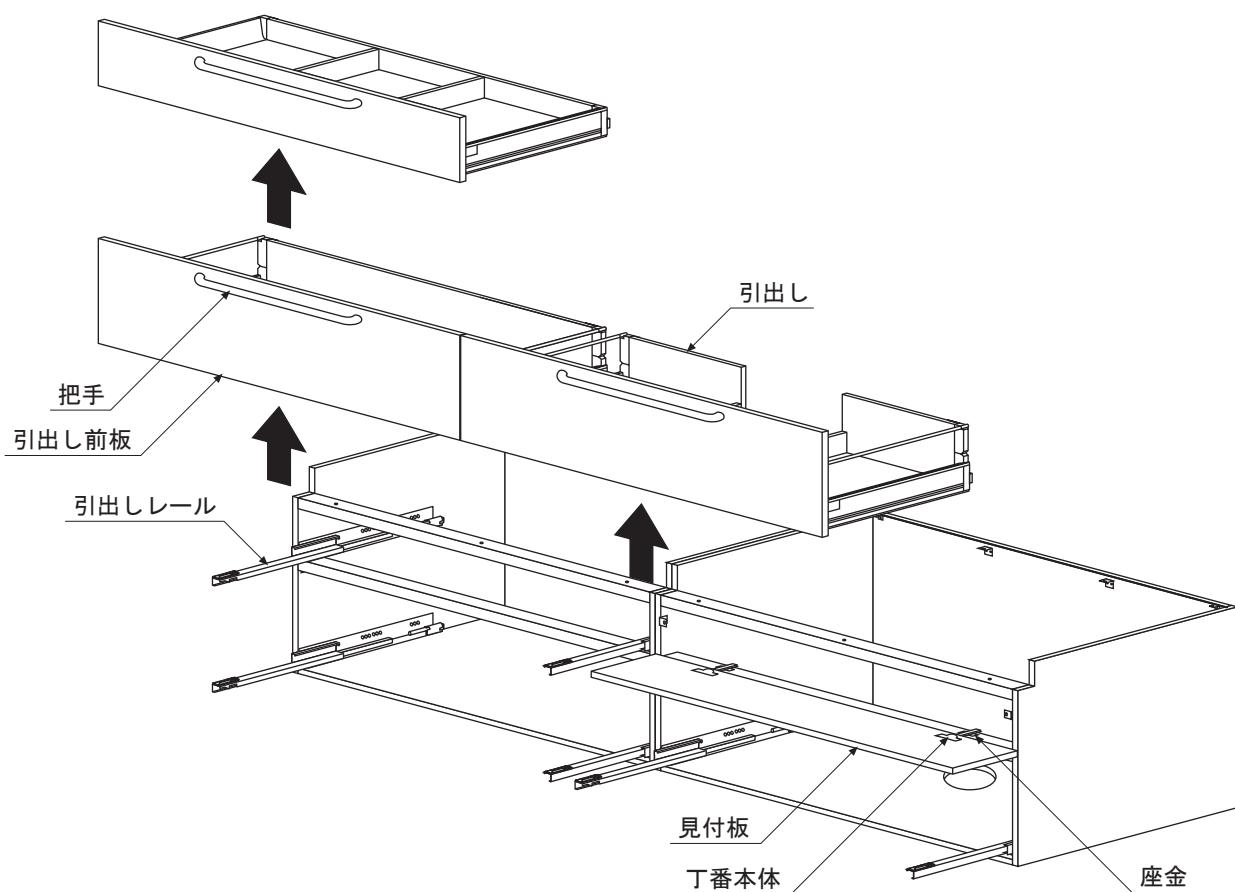
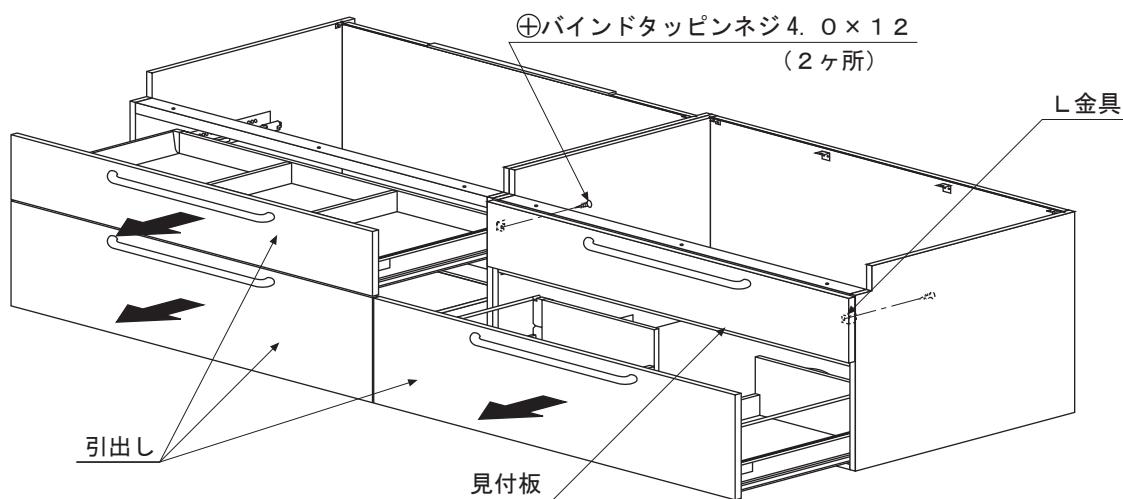
1 引出し、見付板の取り外し

・引出しをいっぱいまで引出します。

・引出しを持ち上げて取り外します。

※把手や引出し前板を持って取り外さないでください。

・シンクユニット内側から見付板を固定しているネジ（ \oplus バインドタッピングネジ 4.0×12 （2ヶ所））を外し、丁番本体を座金から外し、見付板を取り外します。（「丁番の着脱」の「取り外し方」を参照のこと。）



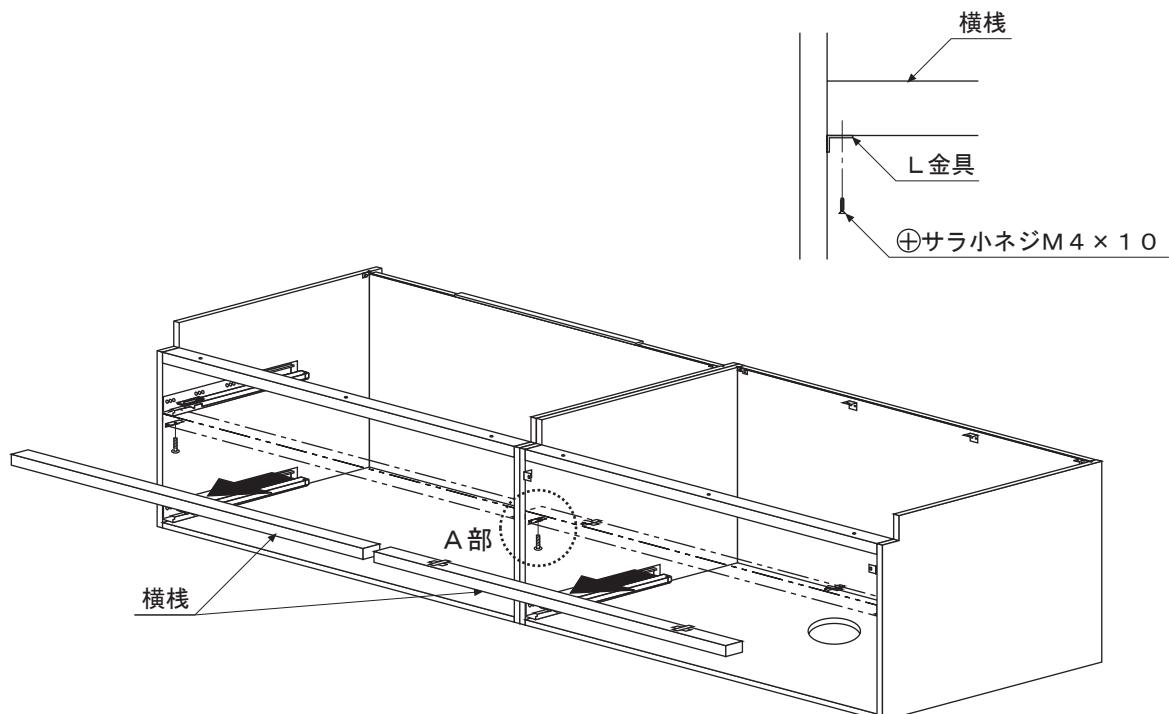
施工手順 2

2 横桟の取り外し

- 配管作業をしやすくするため、横桟を外します。

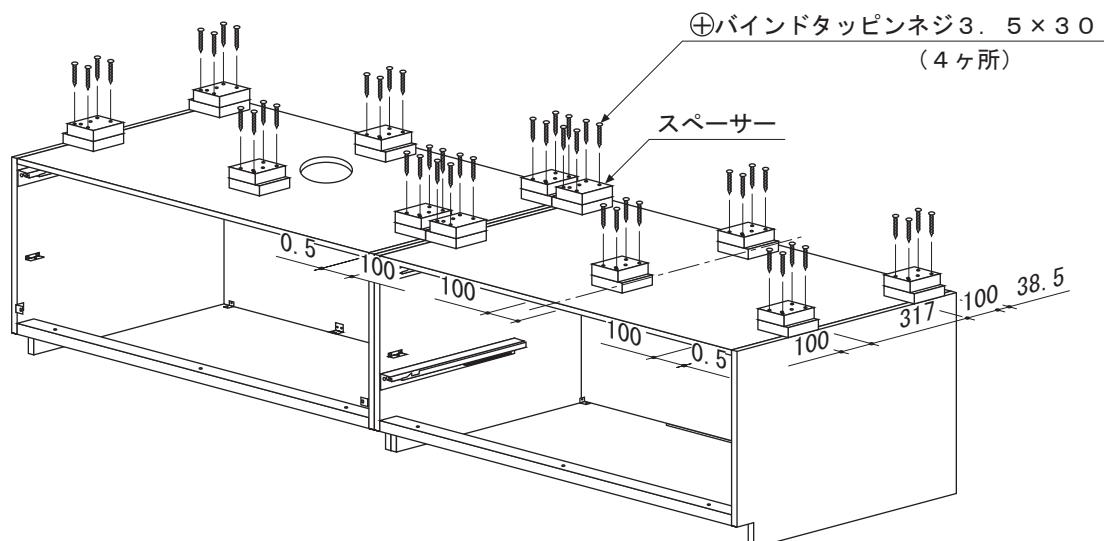
横桟の下方から固定しているネジ（ \oplus サラ小ネジM 4 × 10（各2ヶ所））を外し、横桟を取り外します。

A部詳細図



3 スペーサーの取付け

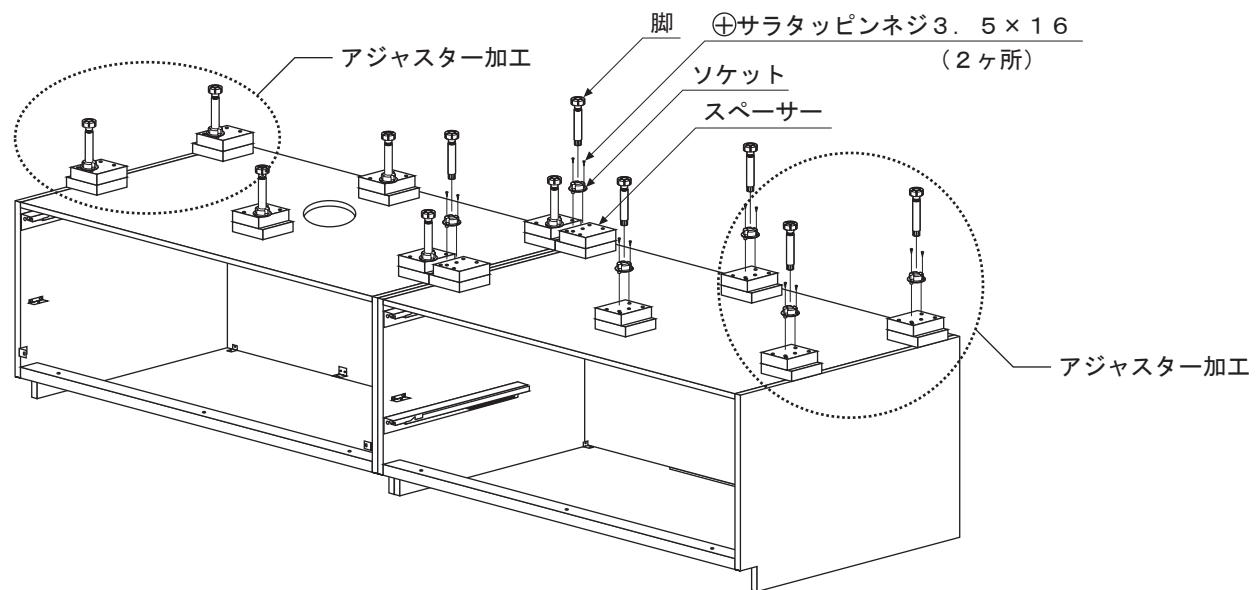
- ユニットを裏返します。
- 底板の指定位置にスペーサーを取付けます。
 \oplus バインドタッピングネジ3. 5 × 30（各4ヶ所）にて固定します。



施工手順 3

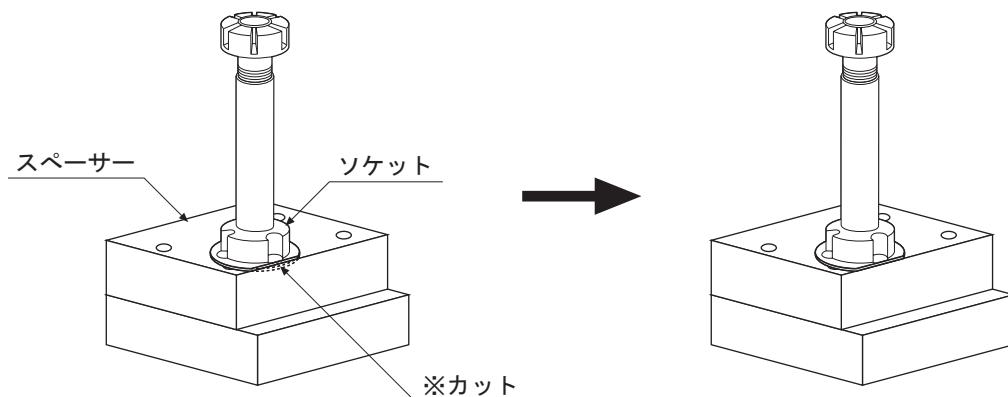
4 アジャスターの取付け

- ・スペーサーの取付穴にソケットをはめ込み、 \oplus サラタッピンネジ 3.5×16 (2ヶ所) にて固定します。
- ・脚をソケットの取付穴にはめ込んでください。



5 アジャスターの加工

- ・キッチン両端に位置するアジャスターを加工します。
スペーサーからはみ出したソケット部分をカットします。

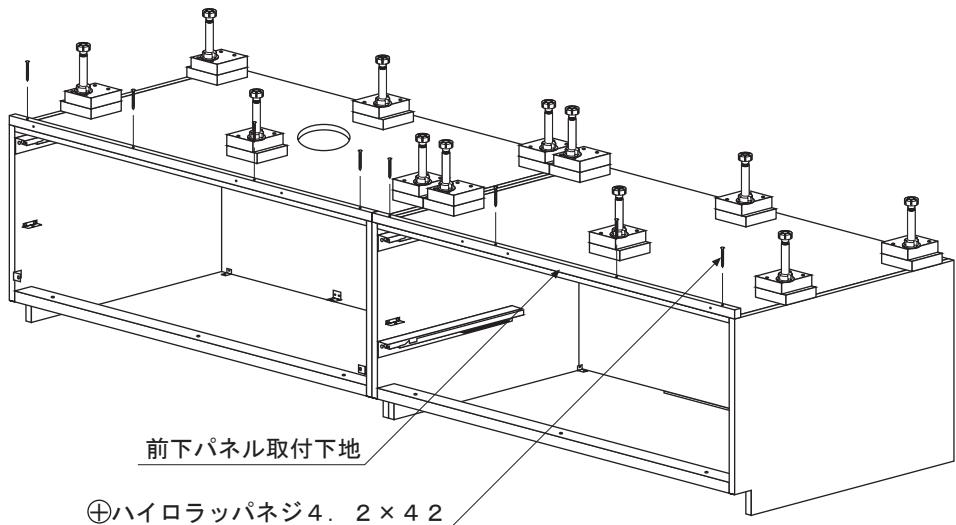


6 前下パネル取付下地の取付け

- 各ユニットの指定位置に前下パネル取付下地を取付けます。

前下パネル取付下地を④ハイロラッパネジ4. 2×42（各4ヶ所）にてユニット底板に取付けます。

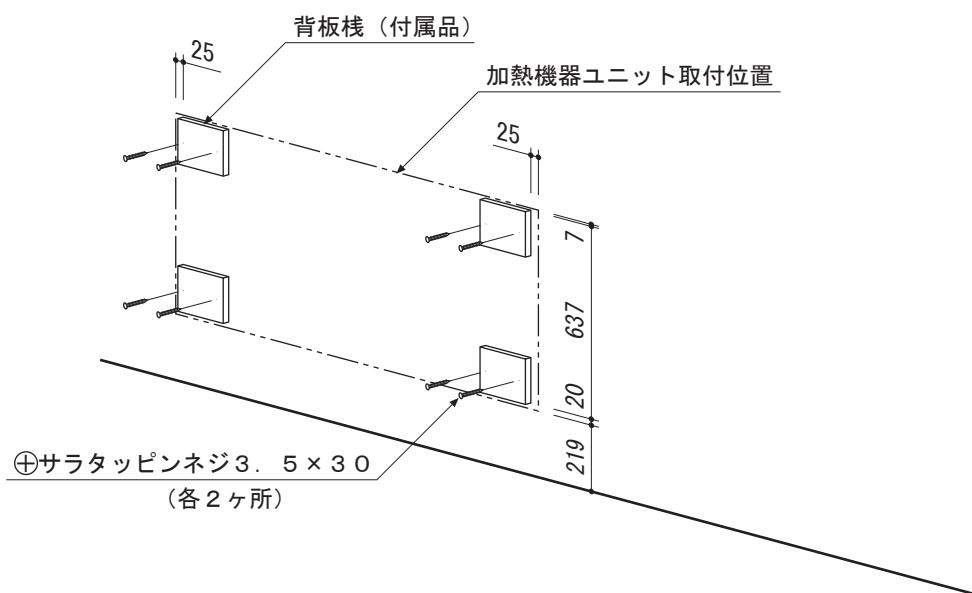
※食洗機タイプの場合は、「食洗機の取付け」を参照のこと。



7 背板棧の取付け

- 間口900、1200加熱機器ユニット取付位置の壁面に背板棧（付属品）を取付けます。

壁面の指定位置に④サラタッピン3. 5×30（各2ヶ所）にて4ヶ所固定します。

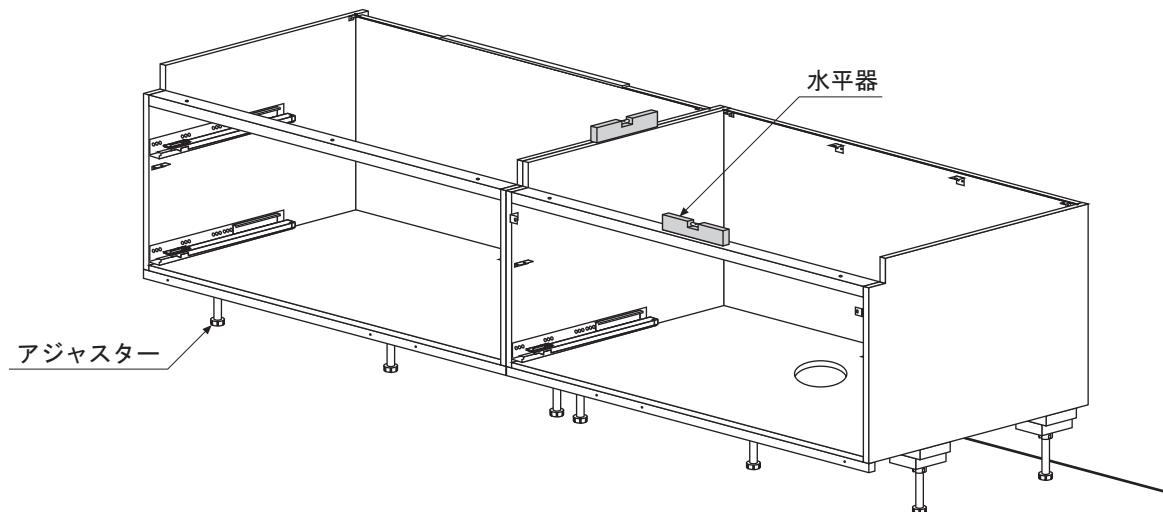


施工手順 5

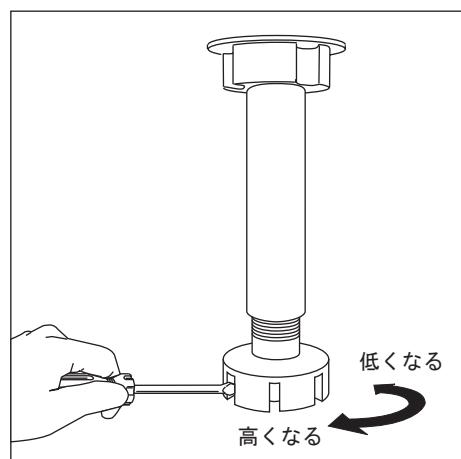
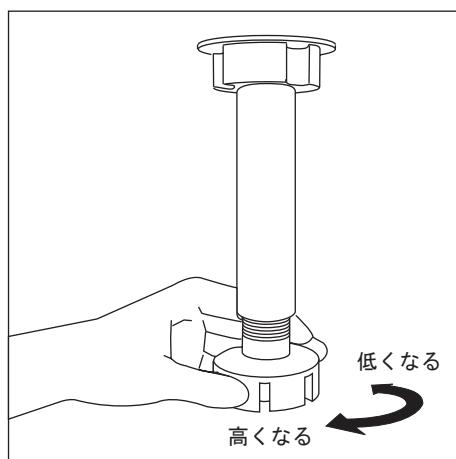
8 レベル調整

・ユニットを元に戻し、専用工具又は手やドライバーを使い、ユニットの高さを調整し、水平を出します。

※調整範囲 -0 ~ +15 mm



■アジャスターの調整方法

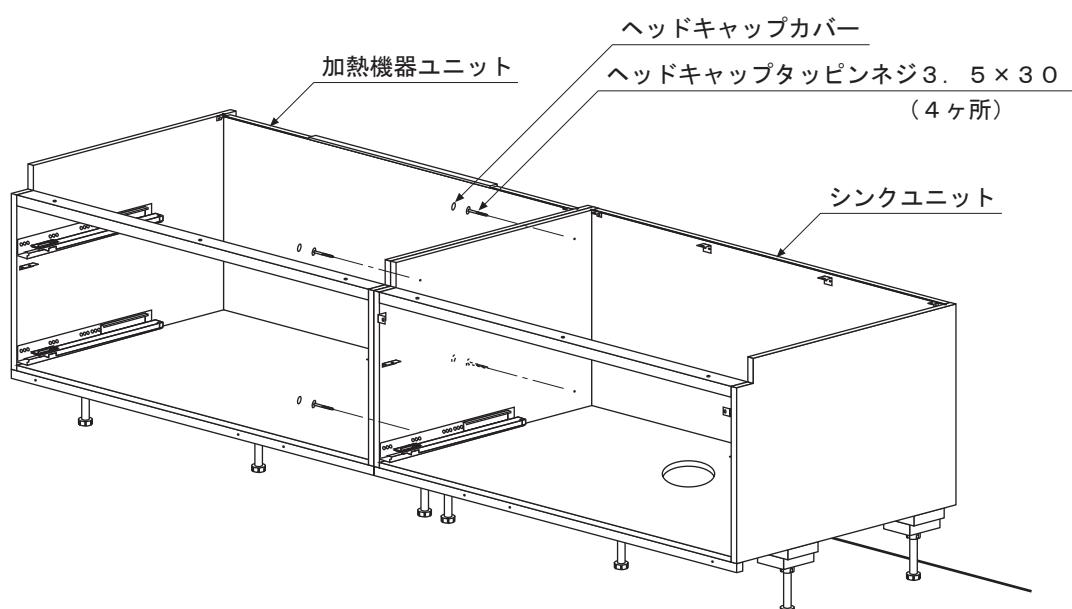
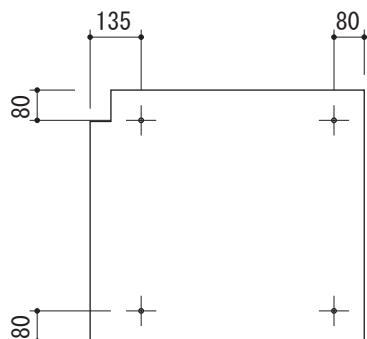


9 ユニットの連結

- ・隣接するユニットどうしを連結します。
加熱機器ユニット側板の指定位置（4ヶ所）に $\phi\ 4.2$ ～ $\phi\ 4.5$ の下穴をあけ、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 にて固定します。
ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※食洗機タイプの場合は、「食洗機の取付け」を参照のこと。

ユニット連結位置

[加熱機器ユニット側板側面図]



10 フィラーの取付け

- ユニット側板にフィラーを取付けます。

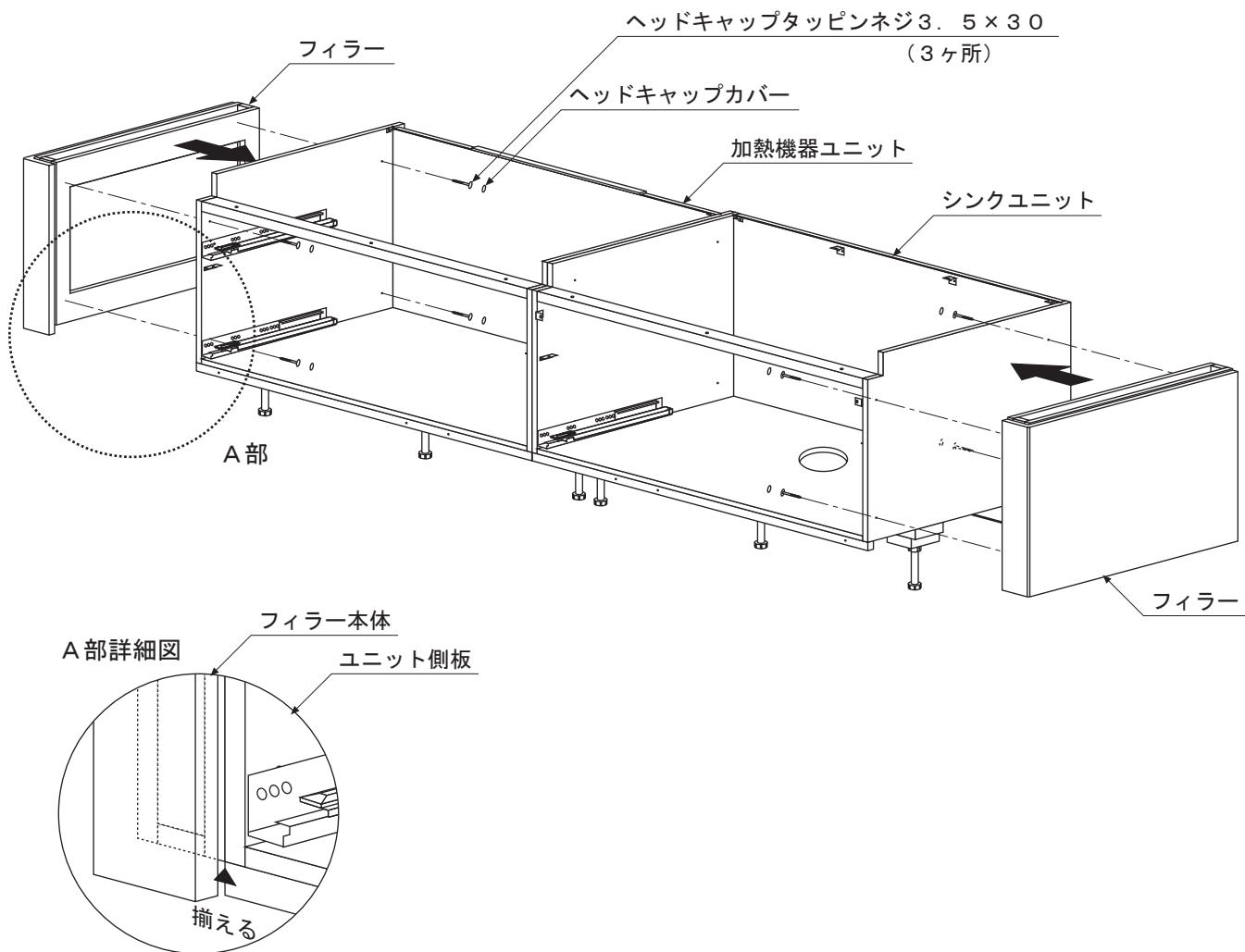
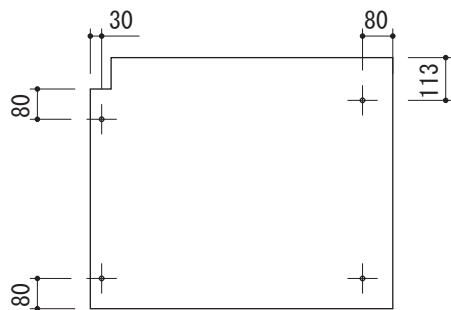
ユニット内側より側板の指定位置（各4ヶ所）に $\phi 4.2 \sim \phi 4.5$ の下穴をあけ、ヘッドキャップタッピンネジ3.5×30にて固定します。

ヘッドキャップカバーを取付けます。

※フィラーボディの下端前面をユニット側板下端前面に合わせて固定してください。

フィラー固定位置

[ユニット側板側面図]



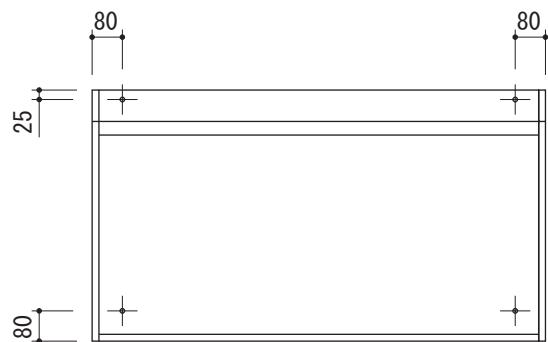
施工手順 8

1.1 ユニットの壁面固定

- ユニットを壁面に固定します。
ユニット内側より背板の指定位置（各4ヶ所）に $\phi\ 4.2$ ～ $\phi\ 4.5$ の下穴をあけ、ヘッドキャップタッピンネジ3.5×30にて固定します。
ヘッドキャップカバーを取付けます。

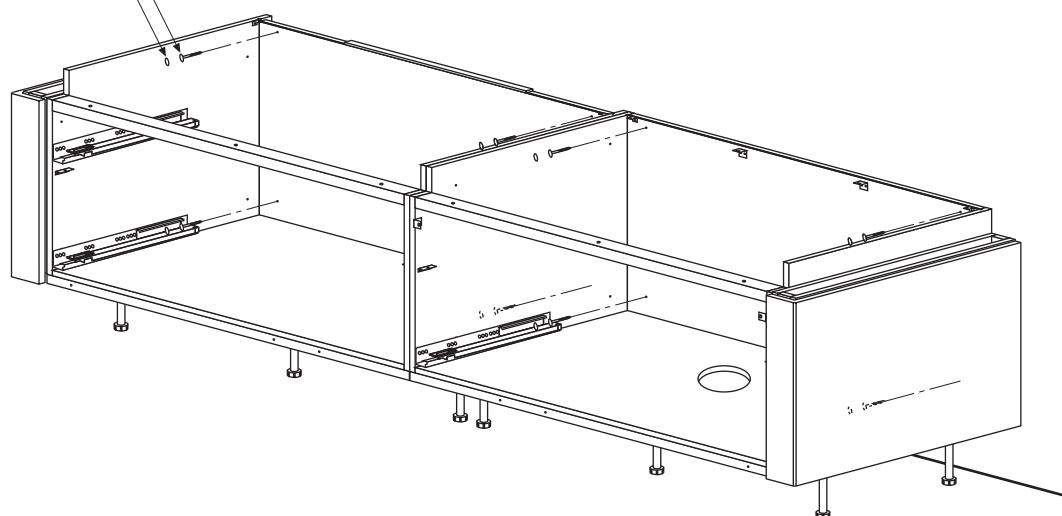
壁面固定位置

[ユニット正面図]



ヘッドキャップカバー

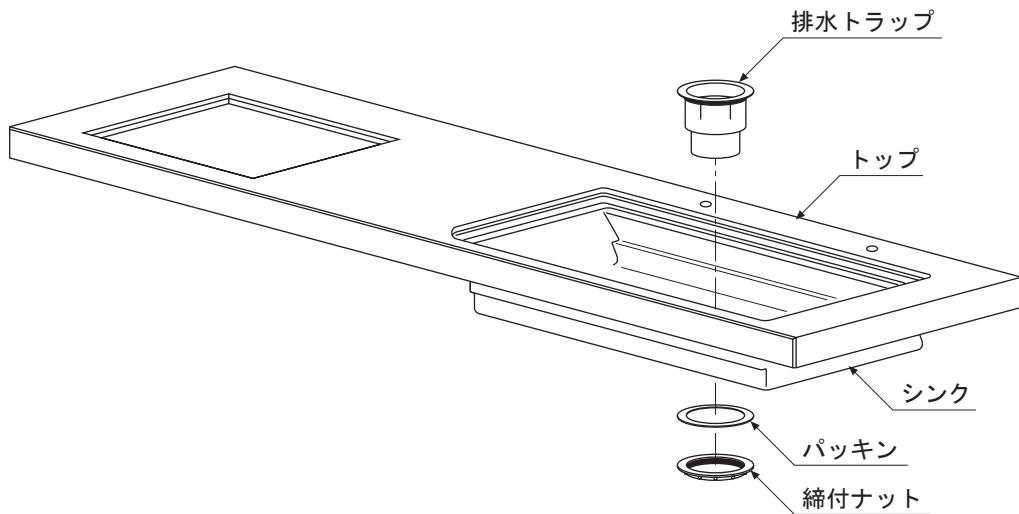
ヘッドキャップタッピンネジ3.5×30
(各4ヶ所)



施工手順 9

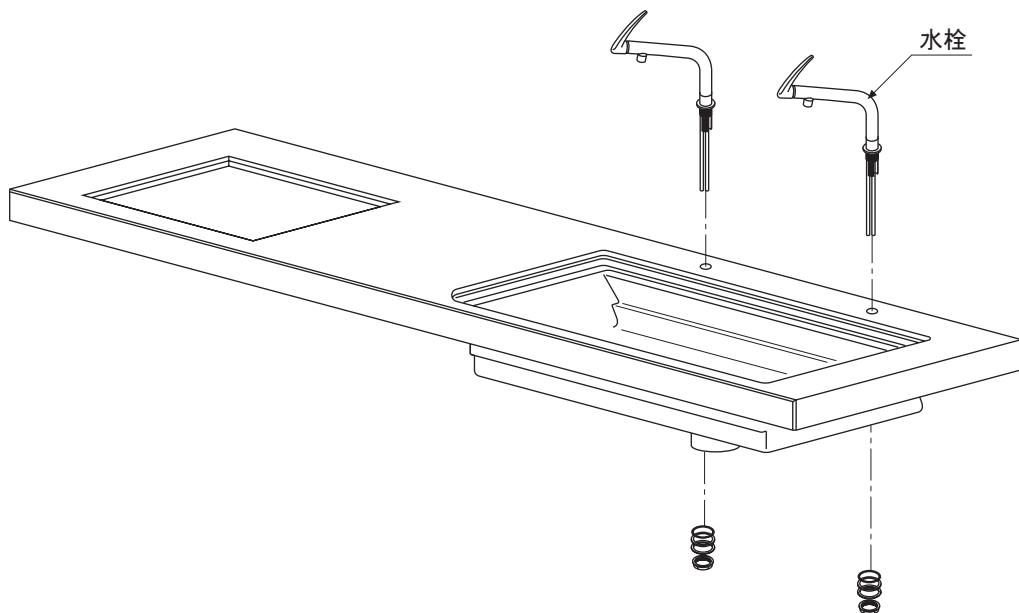
12 排水トラップの取付け

- シンクの排水栓取付穴に排水トラップを取り付けます。



13 水栓の取付け

- 付属の「据付工事説明書」に従って、水栓を取付けます。



1.4 トップの取付け

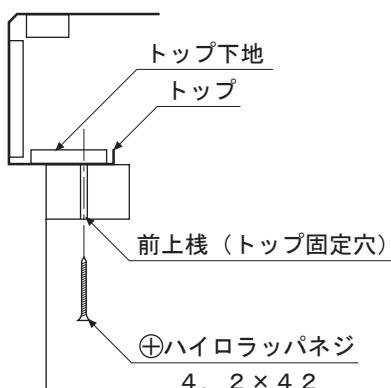
- ユニットの上にトップをのせます。
- ユニット前上棧のトップ固定穴から \oplus ハイロラッパネジ 4.2×42 ($W=300 \cdot 600$ の場合2ヶ所、 $W=900 \cdot 1200$ の場合3ヶ所) にてトップを固定します。
- ユニット後方両端のL金具から \oplus バインドタッピングネジ 4.0×12 (2ヶ所) にてトップを固定します。
- シンクユニット後方中央のL金具から \oplus バインドタッピングネジ 4.0×16 (2ヶ所) にてトップを固定します。

※壁面に弊社のバックパネルや壁面パネルを取付けない場合は、トップの壁に接する面にシール材（付属品）を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、トップを壁へ押し取付けてください。

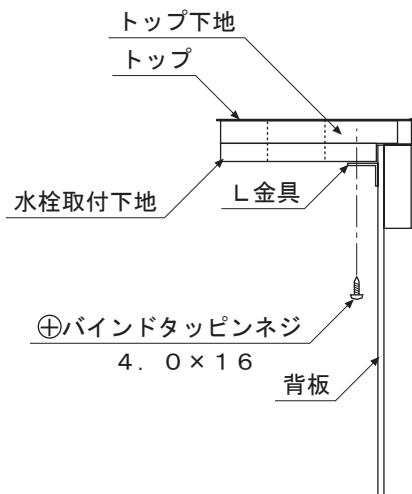
(図1)

全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周（縦目地も含む）をシーリングしてください。（図2）

ユニット前面取付詳細

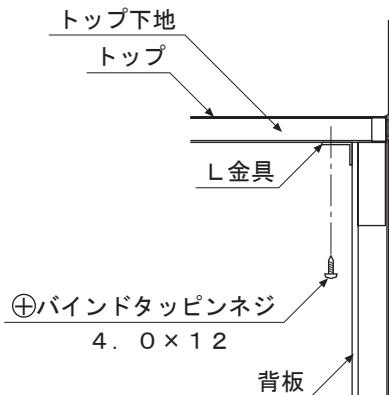


シンクユニット後方中央取付詳細

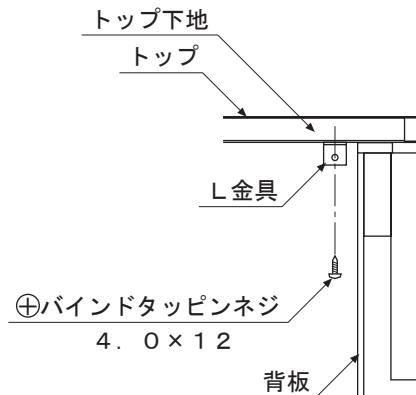


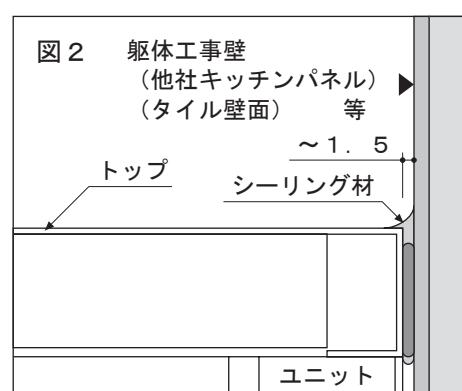
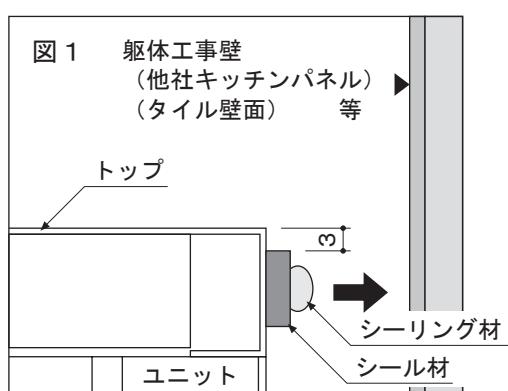
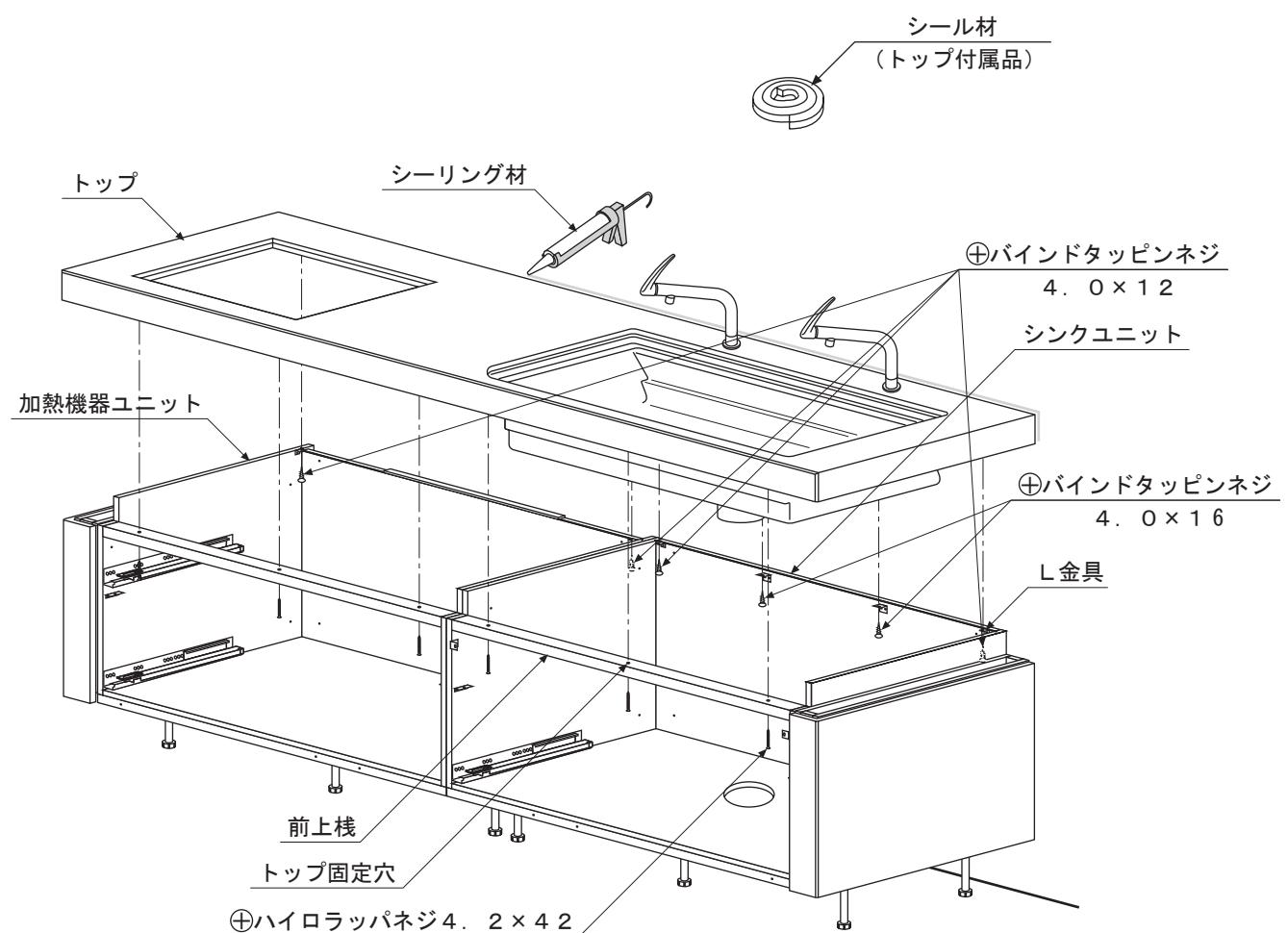
ユニット後方両端取付詳細

■シンクユニット、
 $W=300 \cdot 600$ 加熱機器ユニットの場合



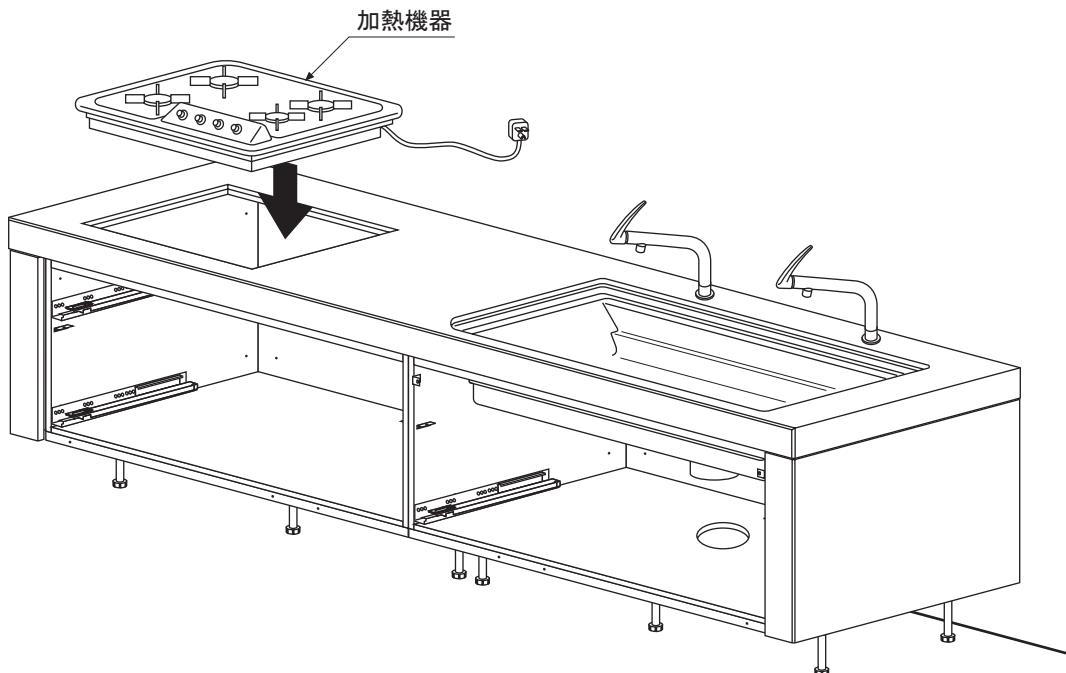
■ $W=900 \cdot 1200$ 加熱機器ユニットの場合





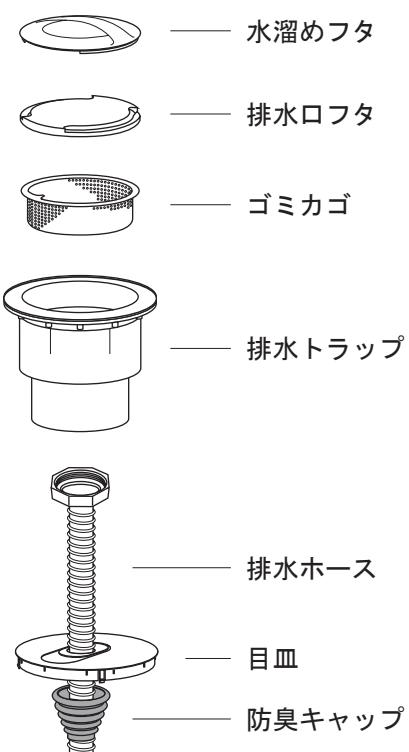
15 ビルトイン機器の取付け

- 付属の「据付工事説明書」に従って、加熱機器を取付けます。
- ※「加熱機器の配管方法」に従って、配管を行ってください。



16 排水栓の配管

- トップに取付けておいた排水トラップの配管を行います。



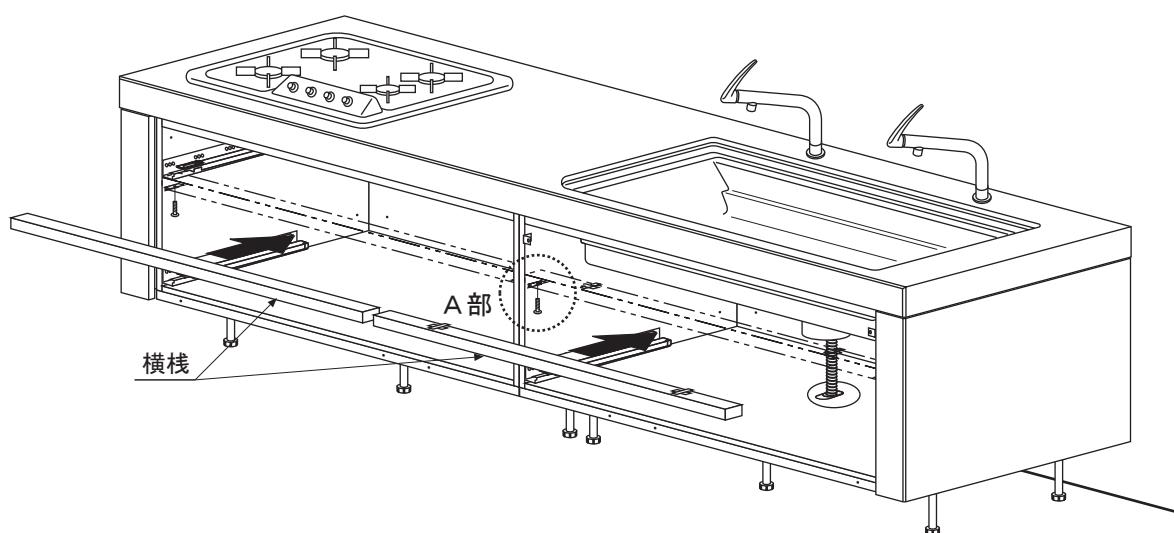
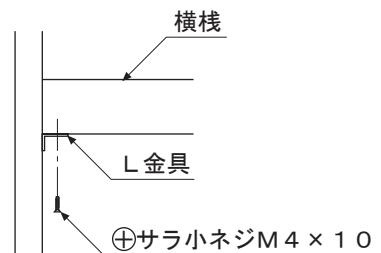
17 水栓の配管

- ・トップに取付けておいた水栓の配管を行います。
- 付属の「据付工事説明書」に従って、配管を行ってください。

18 横桟の取付け

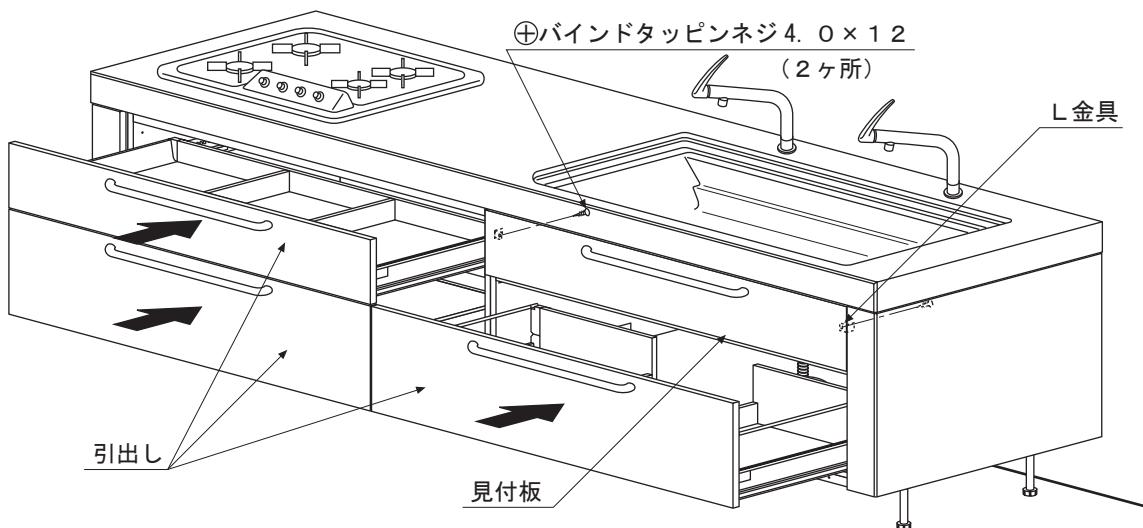
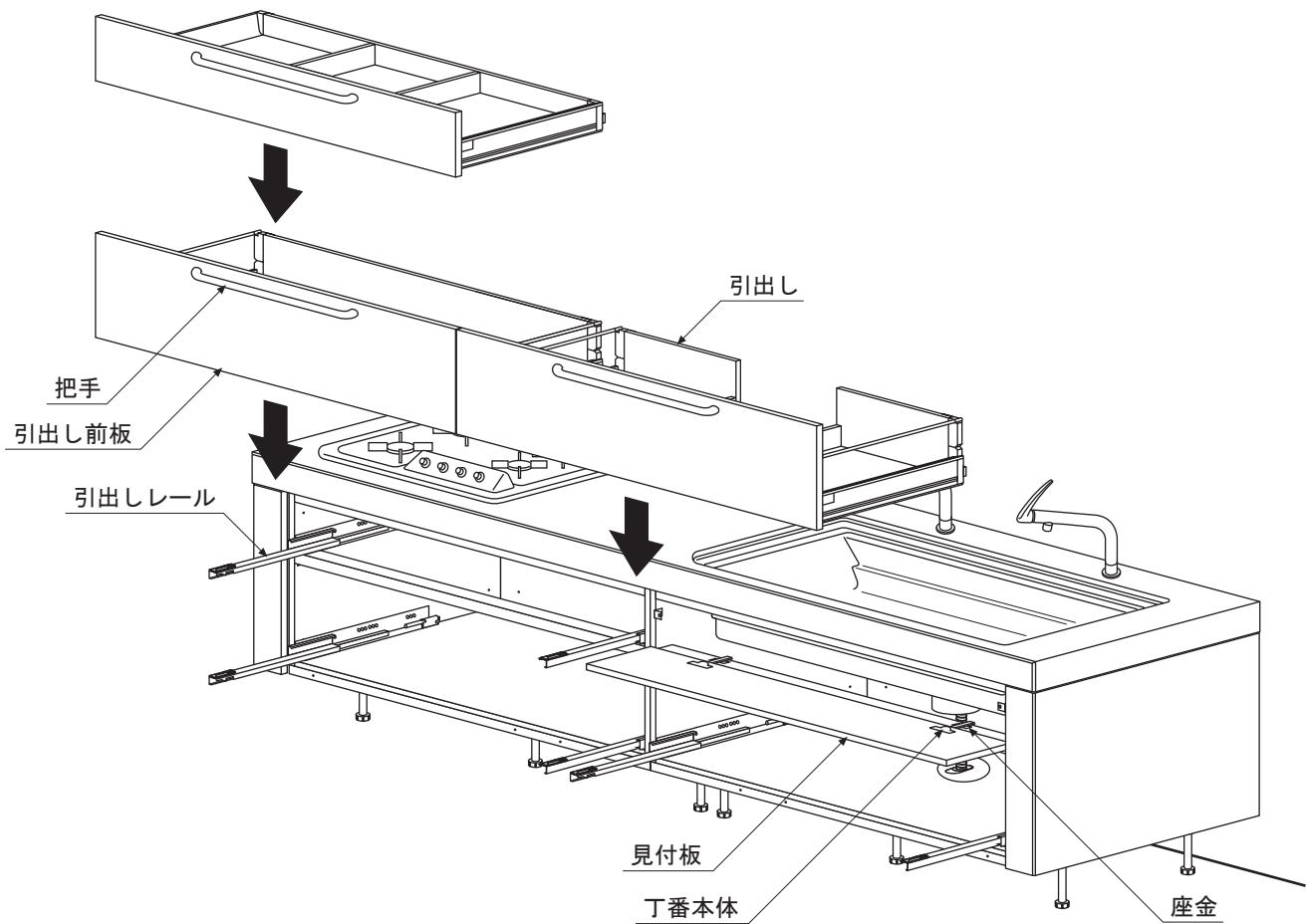
- ・ユニット側板についているL金具から \oplus サラ小ネジM4×10（2ヶ所）にて横桟を取付けます。

A部詳細図



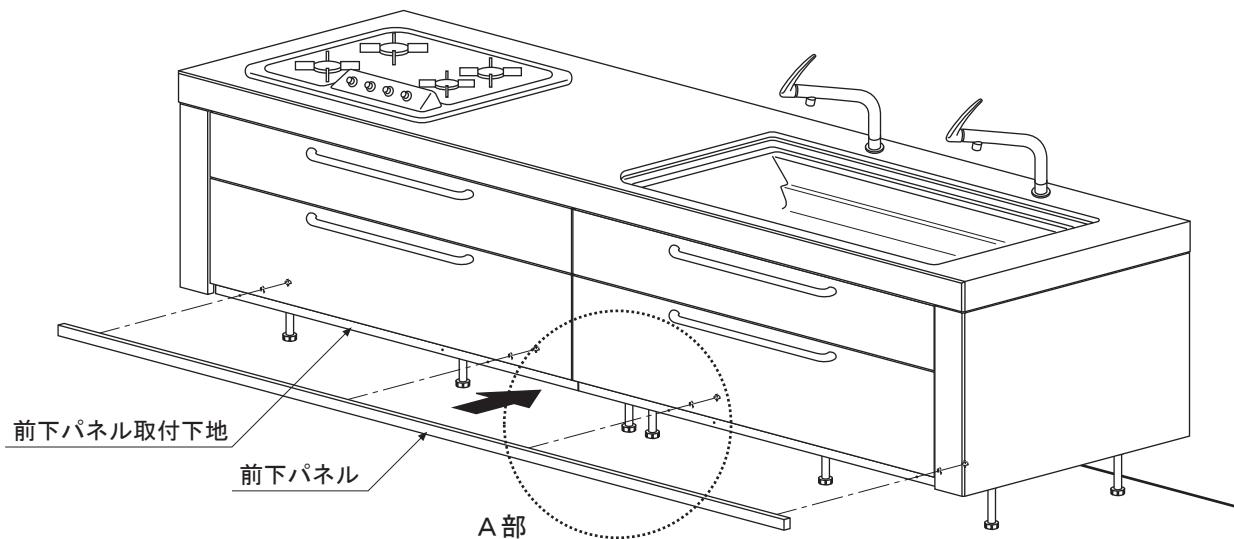
19 引出し、見付板の取付け

- ・引出しレールをいっぱいまで引出します。
- ・引出しレールの上に引出しをのせます。
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。
- ・見付板についている丁番本体をシンクユニット横桟の座金に取付け、シンクユニット内側のL金具から
⊕バインドタッピングネジ4.0×12（2ヶ所）にて見付板を固定します。

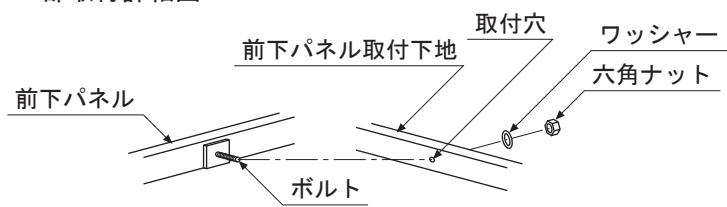


20 前下パネルの取付け

- ・前下パネル取付下地に前下パネルを取付けます。
- 前下パネル裏面の下穴にボルトネジ（4本）を取り付けます。
ボルトを前下パネル取付下地の取付穴に差し込み、裏側からワッシャーと六角ナットにて締め付け、固定します。



A部取付詳細図



2.1 ケコミ板の取付け

- スペーサーに両面テープを貼ります。（図1）

※両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。

- ケコミ前板についているスプリングキャッチ（ストライク）を外し、ケコミ側板の開口部に取付けます。（図2）

- アジャスターの位置に合わせて、ケコミ側板にフックを取付けます。（図3）

- ケコミ側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図4、図5）

- スペーサーにフックを取付け（図3）、シンクユニット前面のキッチン中央側のアジャスターにはめ込みます。（図4、図5）

- スペーサーの両面テープのハク離紙をめくり、ケコミ側板とケコミ前板のスプリングキャッチ（2ヶ所）の位置を合わせながら、ケコミ前板を取付けます。（図5、図6）

※スプリングキャッチがしっかりと嵌まったのを確認してください。

※ケコミ前板が外れないように、前面からしっかりと押させてください。

図1

ケコミ板納まり図

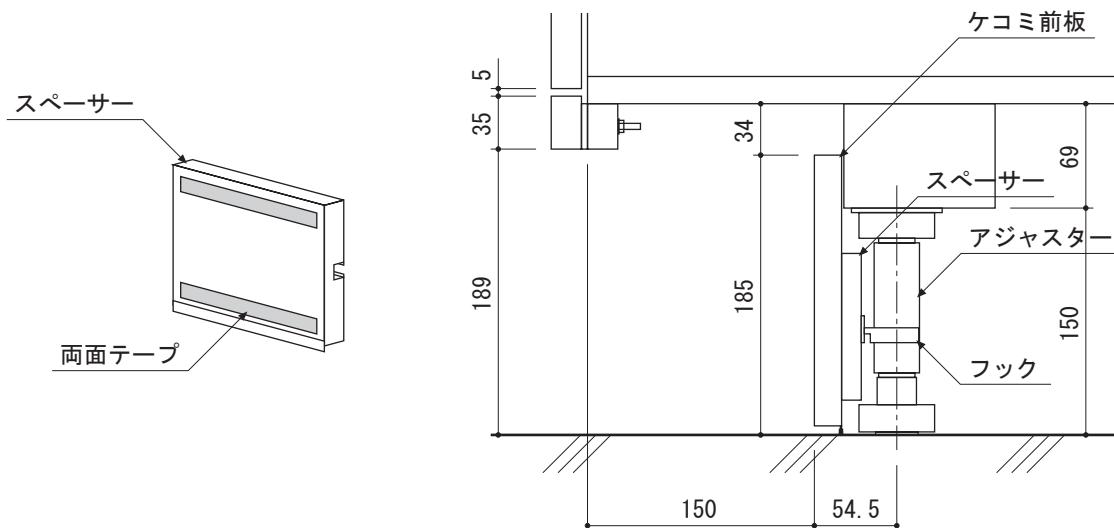


図2

図3

図4

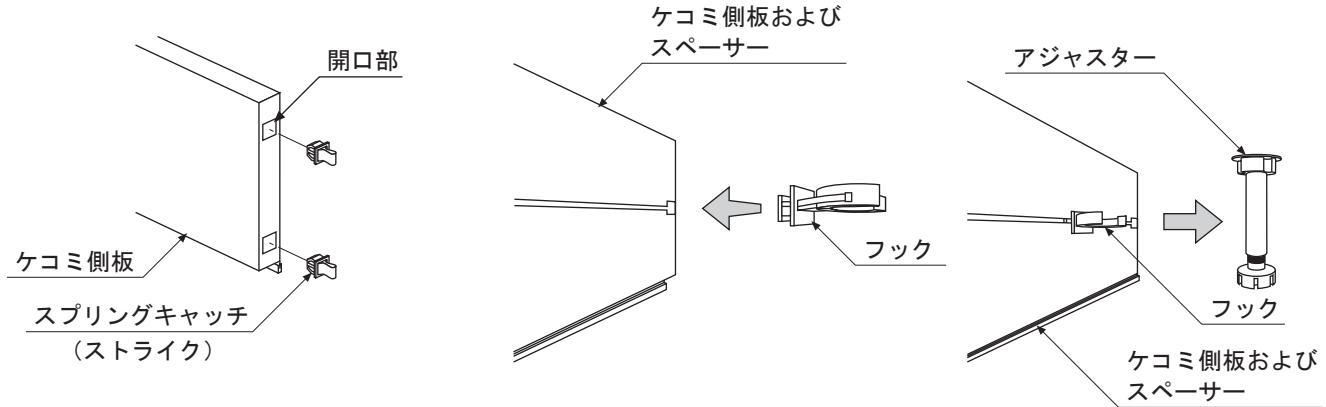


図 5

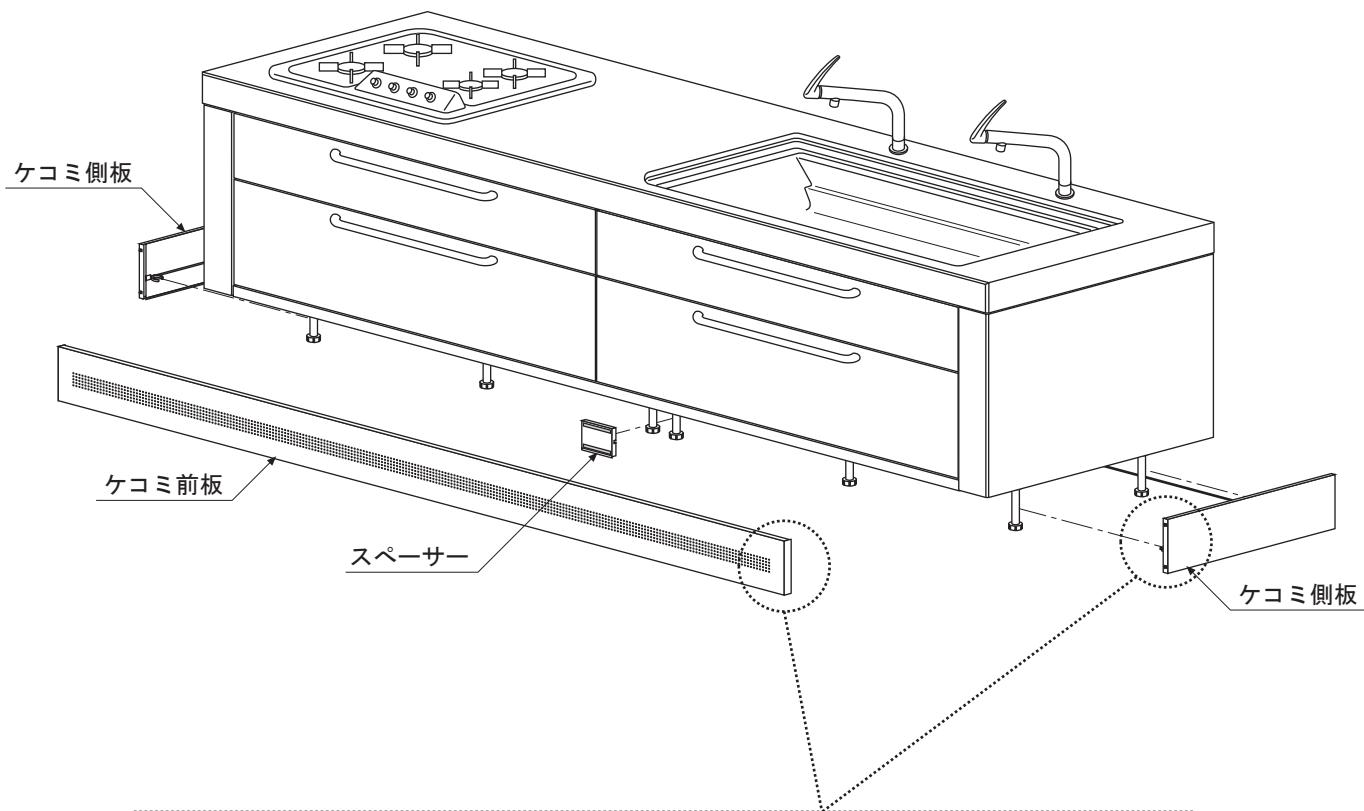
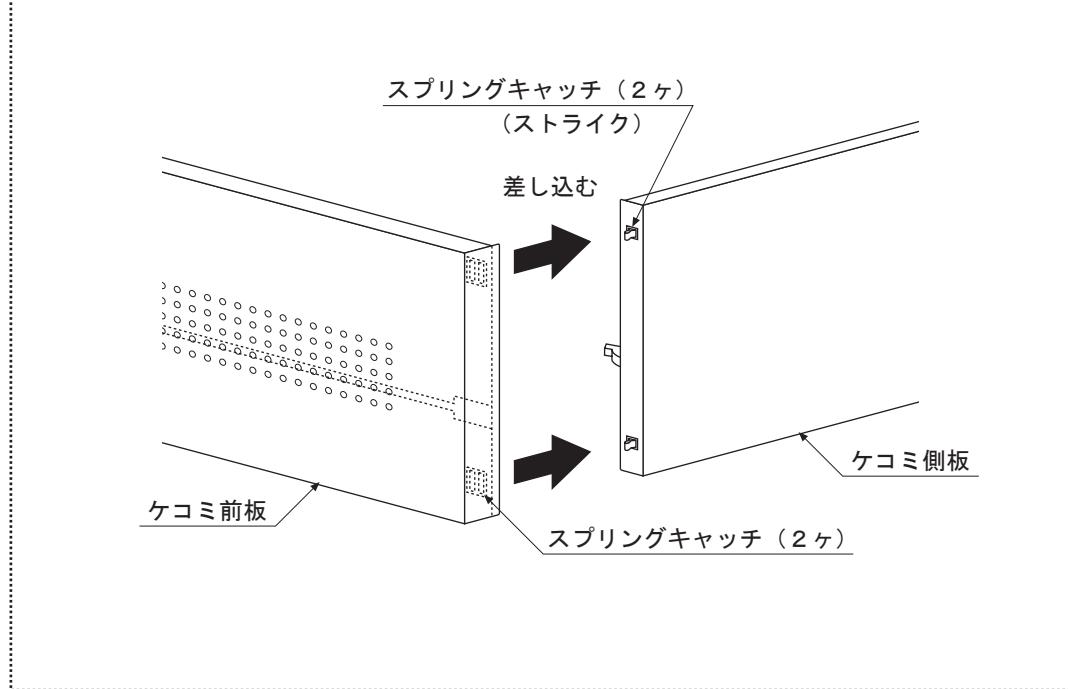


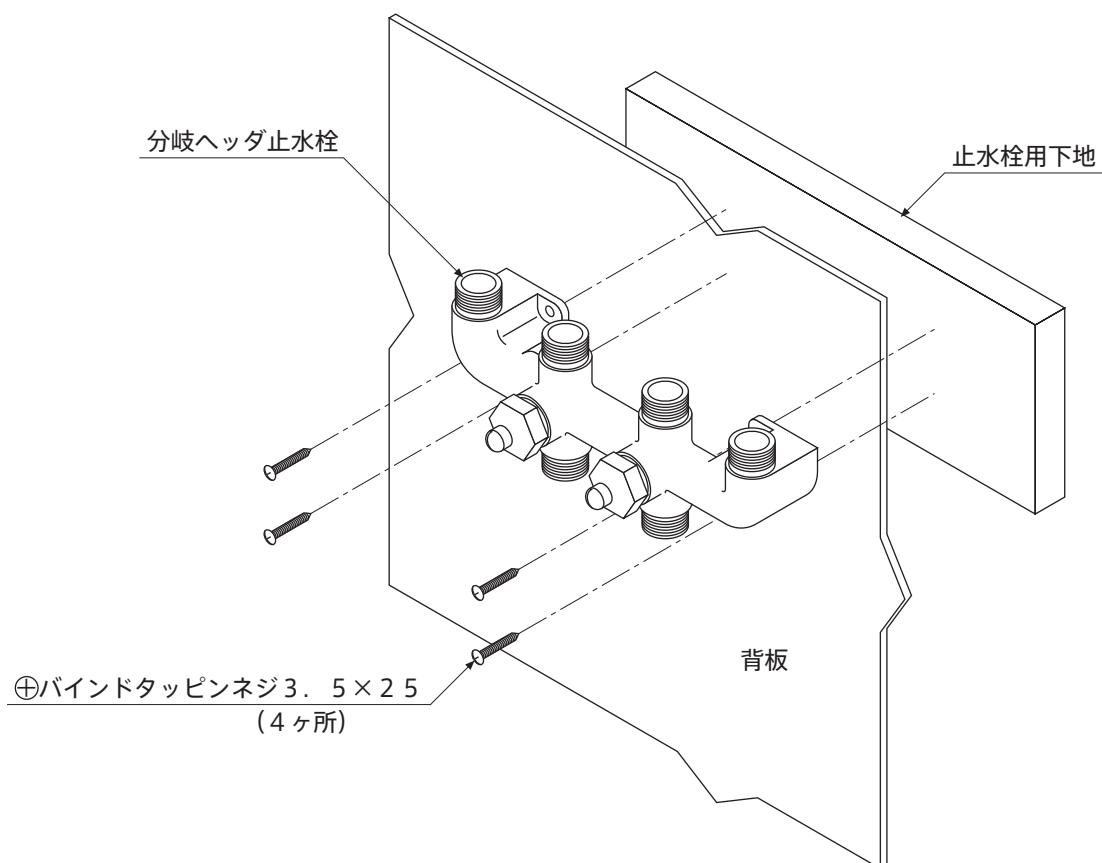
図 6



分岐ヘッダ止水栓の取付け

※「スペーサーの取付け」を行う前に、シンクユニット背板に分岐ヘッダ止水栓を取付けます。

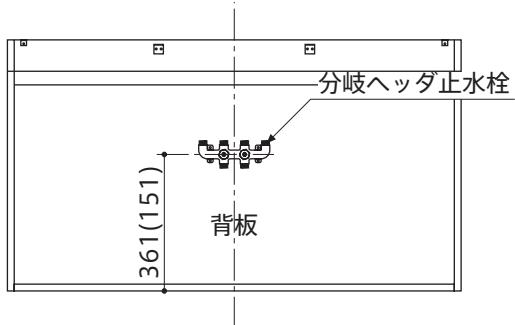
- ・シンクユニット背板背面に止水栓用下地をあて、背板をはさみ込むようにしてユニット内側から分岐ヘッダ止水栓を \oplus バインドタッピンネジ3. 5×25（4ヶ所）にて固定します。



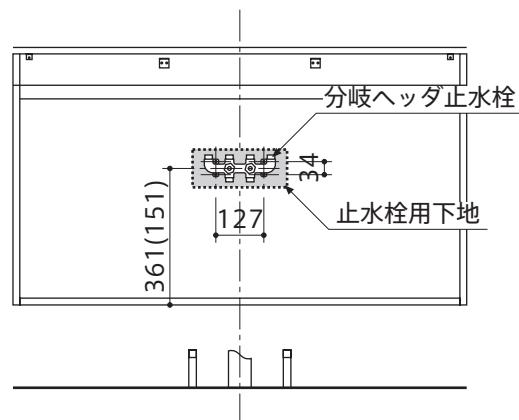
分岐ヘッダ止水栓取付位置

※ () 内寸法は、B I G 水栓の場合を示す。

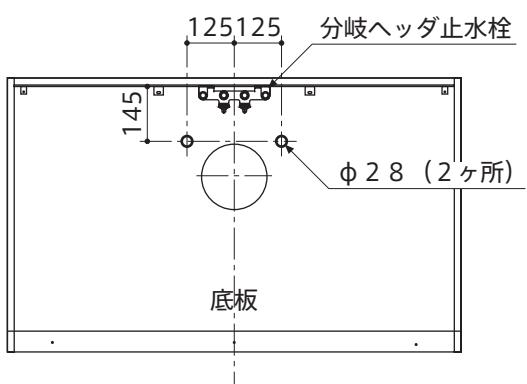
正面図



分岐ヘッダ止水栓、止水栓用下地取付位置



平面図



ベース固定用下地の取付け

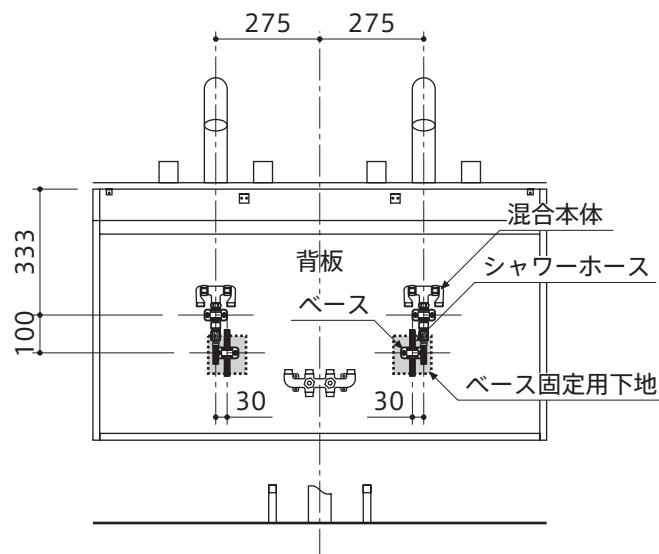
※B I G水栓を取付ける場合、シンクユニット背板にベース固定用下地を取付けます。

- ・シンクユニット背板背面にベース固定用下地をあて、背板をはさみ込むようにしてユニット内側からベースを取付けます。

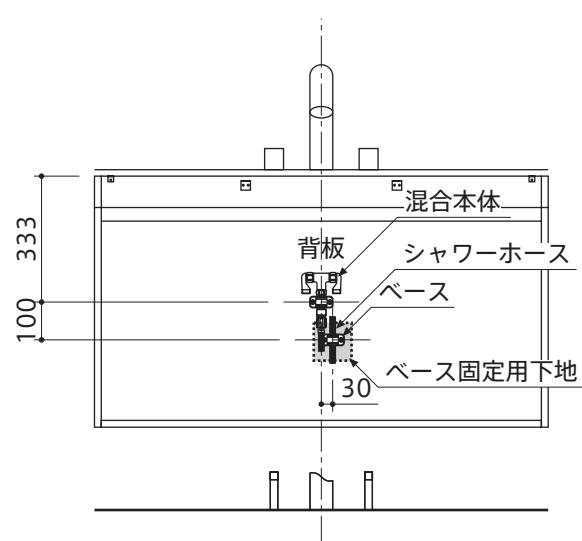
※水栓の取付けについては、付属の「据付工事説明書」を参照ください。

ベース固定用下地取付位置

B I G水栓 2本の場合

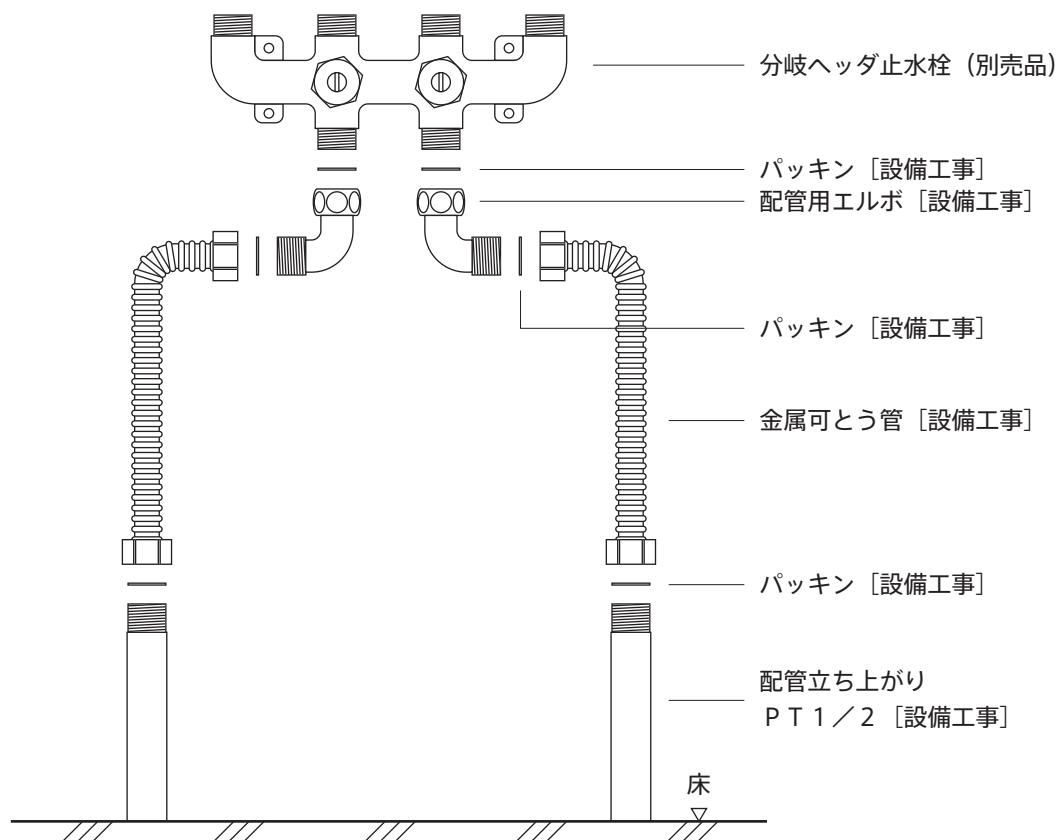


B I G水栓 1本の場合



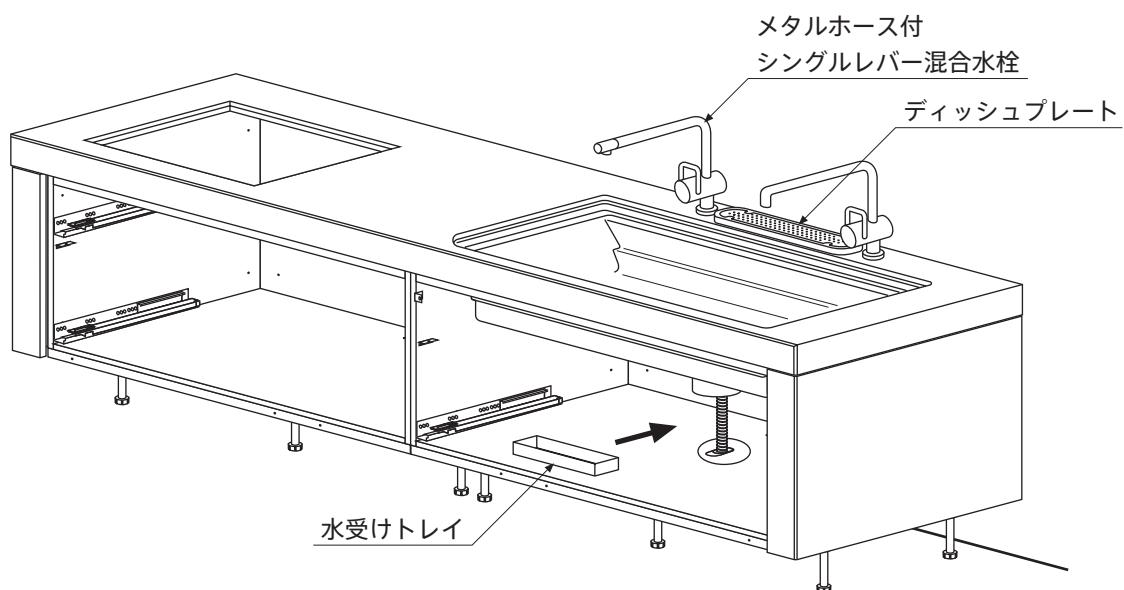
分岐ヘッダ止水栓と一次配管の接続例

※B 1 G水栓2本の場合の配管例を示す。



ディッシュプレート、水受けトレイ（※オプション）の設置

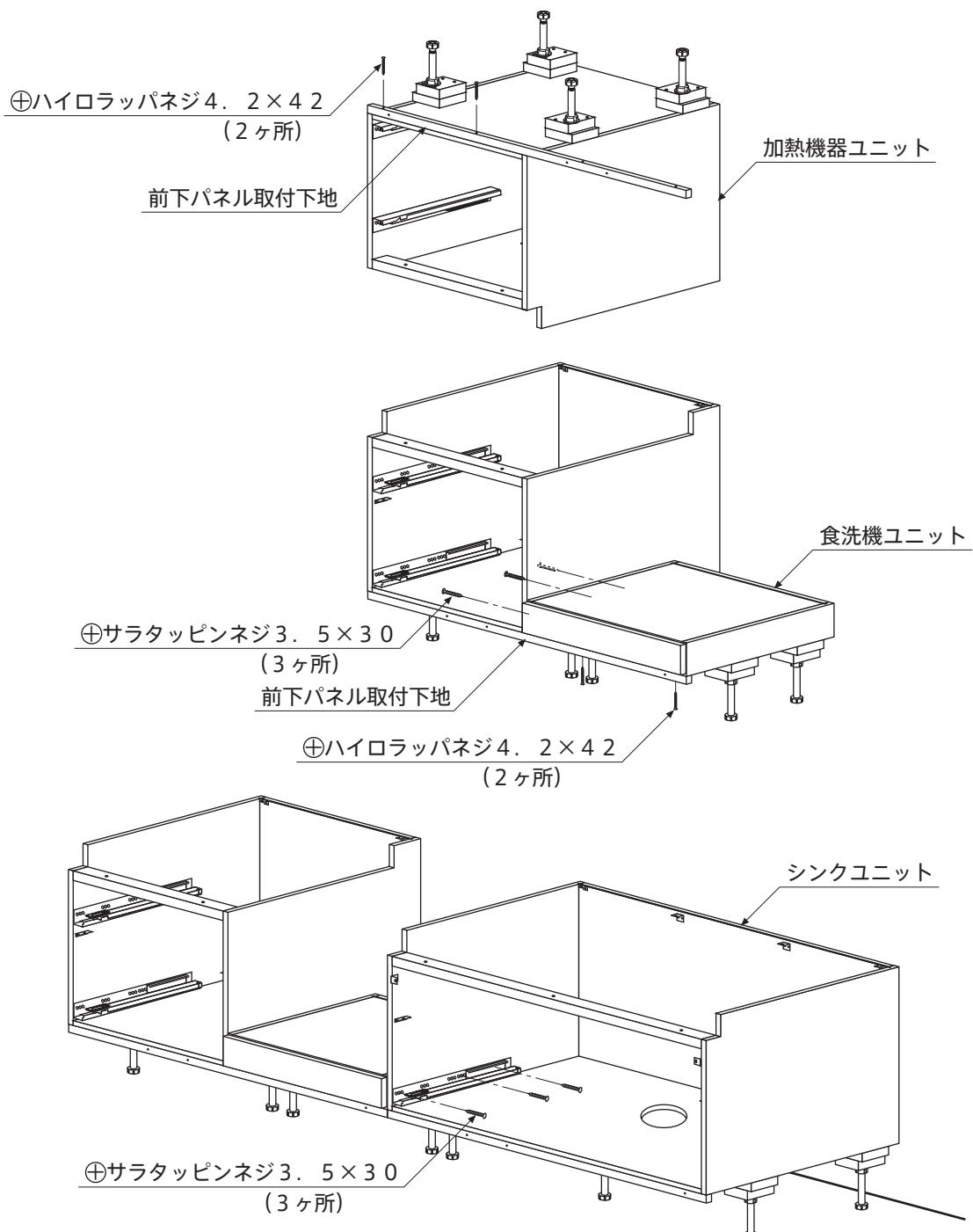
- ・ディッシュプレートをトップに置きます。
- ・メタルホース付シングルレバー混合水栓およびB+G水栓の場合、水受けトレイを水栓の真下にくるようシンクユニットの底板に置きます。



食洗機の取付け（※食洗機付きタイプの場合）

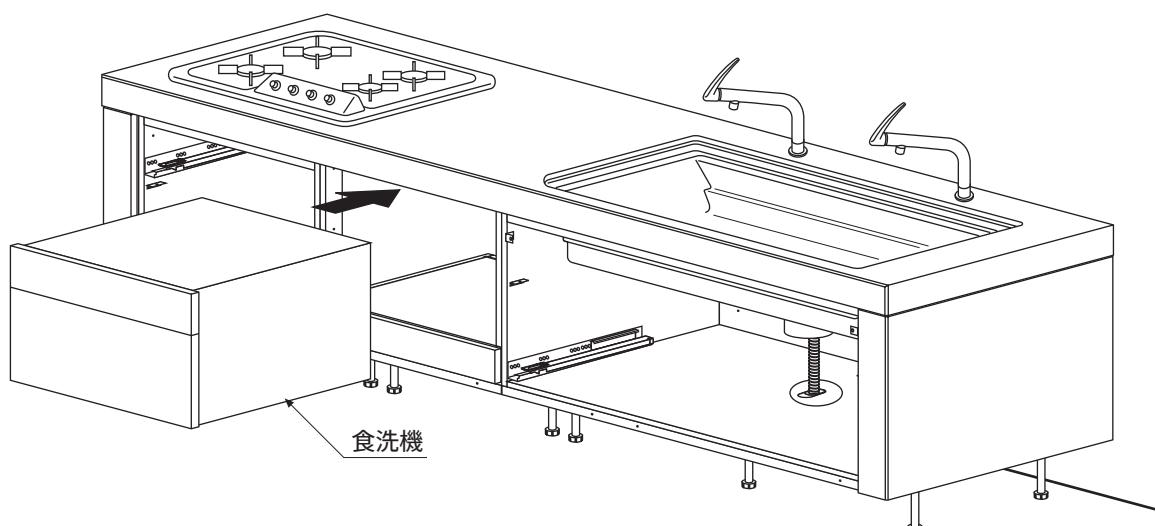
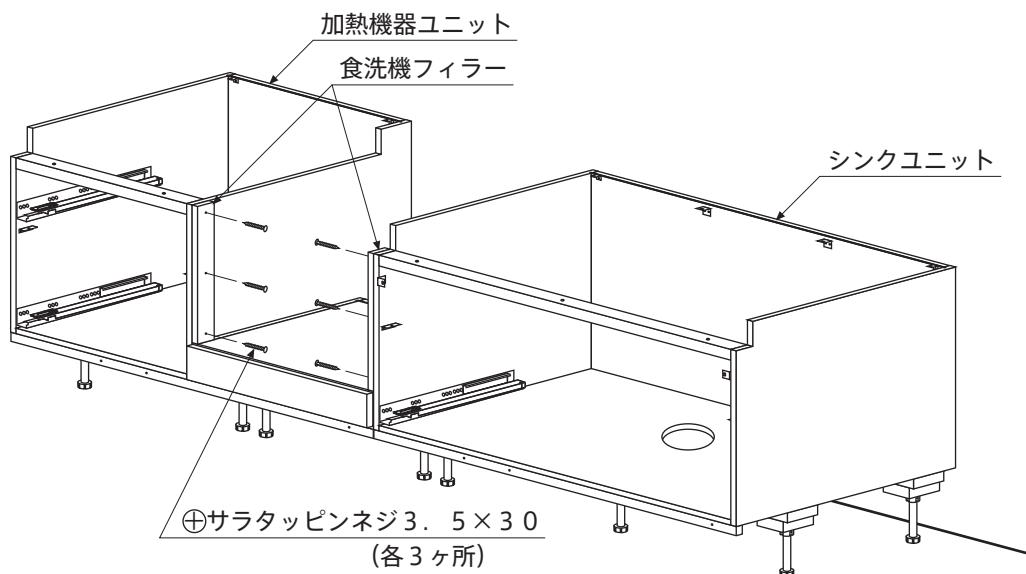
1

- ・ 加熱機器ユニットを裏返します。
- ・ 加熱機器ユニットに前下パネル取付下地を取り付けます。
(シンクユニットは「前下パネル取付下地の取付け」を参照のこと。)
- 前下パネル取付下地を \oplus ハイロラッパネジ4. 2×42（2ヶ所）にて加熱機器ユニット底板に取付けます。
- ・ ユニットを元に戻し、加熱機器ユニットと食洗機ユニットを固定します。
加熱機器ユニットの引出しレールから、 \oplus サラタッピンネジ3. 5×30（3ヶ所）にて食洗機ユニットを固定します。
- ・ 食洗機ユニット底板下面に前下パネル取付下地を固定します。
前下パネル取付下地の下面より \oplus ハイロラッパネジ4. 2×42（2ヶ所）にて食洗機ユニット底板に固定します。
- ・ シンクユニットの引出しレールから、 \oplus サラタッピンネジ3. 5×30（3ヶ所）にて食洗機ユニットを固定します。



食洗機の取付け（※食洗機付きタイプの場合） 2

- ・ 加熱機器ユニットとシンクユニットの側板に食洗機フィラーを取付けます。
食洗機フィラー前面とユニット側板前面を合わせて、 \oplus サラタッピンネジ3. 5×30（各3ヶ所）にて固定します。
- ・ 壁面の指定位置にアースターミナル付き専用コンセントを設置します。
(「食洗機の配管方法」を参照のこと。)
- ・ 付属の「据付工事説明書」に従って、食洗機を取付けます。



クロスギャラリーの取付け（※オプション）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図1）
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図2、図3）
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。（図1）
- ※取り外す時は、逆の手順で行います。

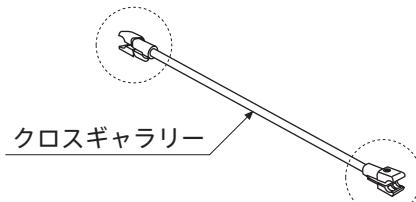


図1

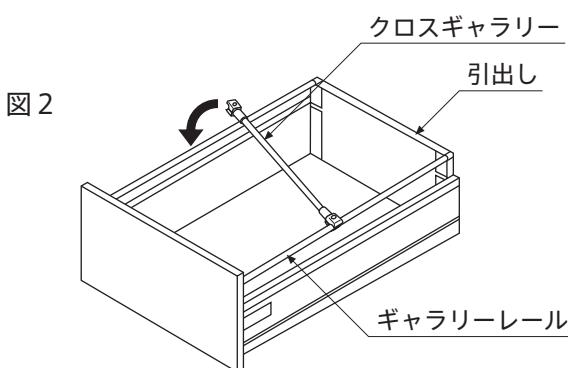
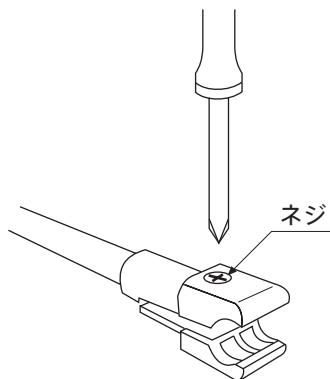


図2

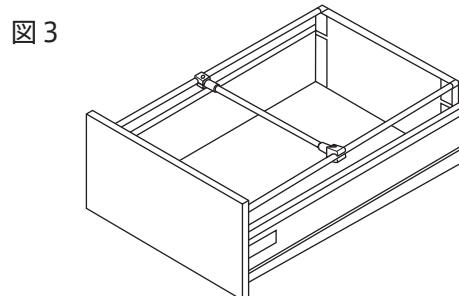
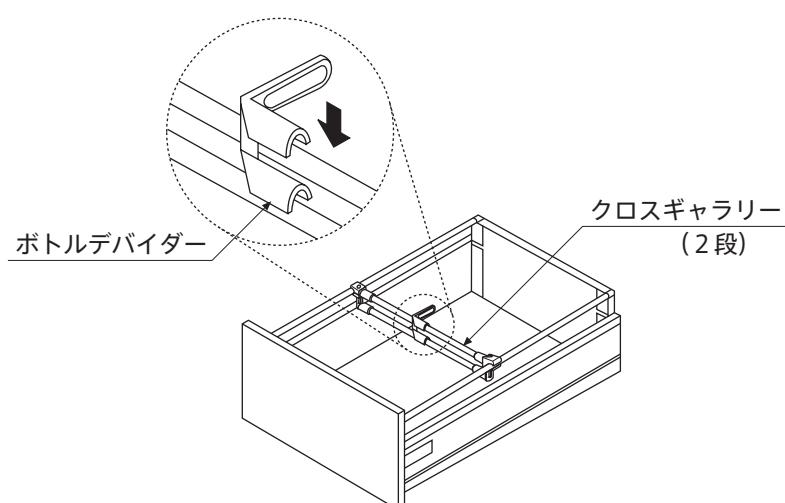


図3

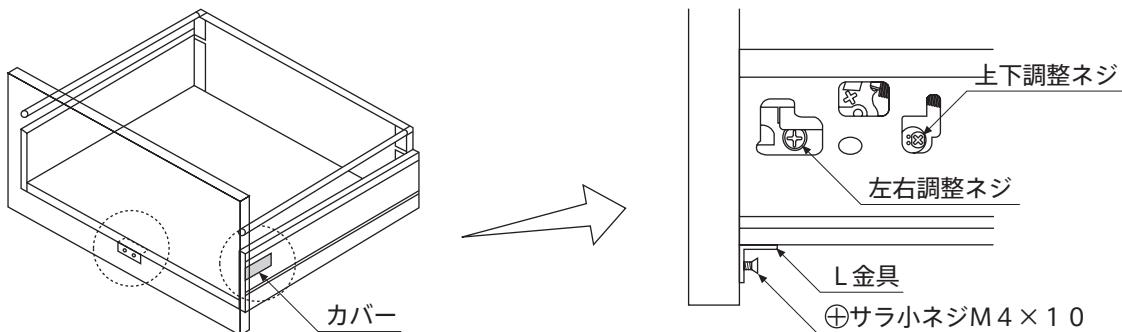
【クロスギャラリー2段タイプ】

- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



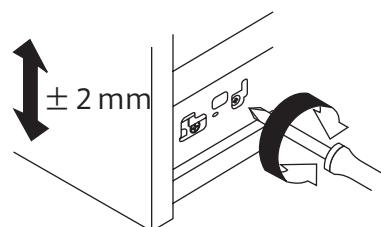
引出し前板の調整

- ・引出しの底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
- ・引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・調整が終わりましたら、取付ネジを締めて、カバーを取付けてください。



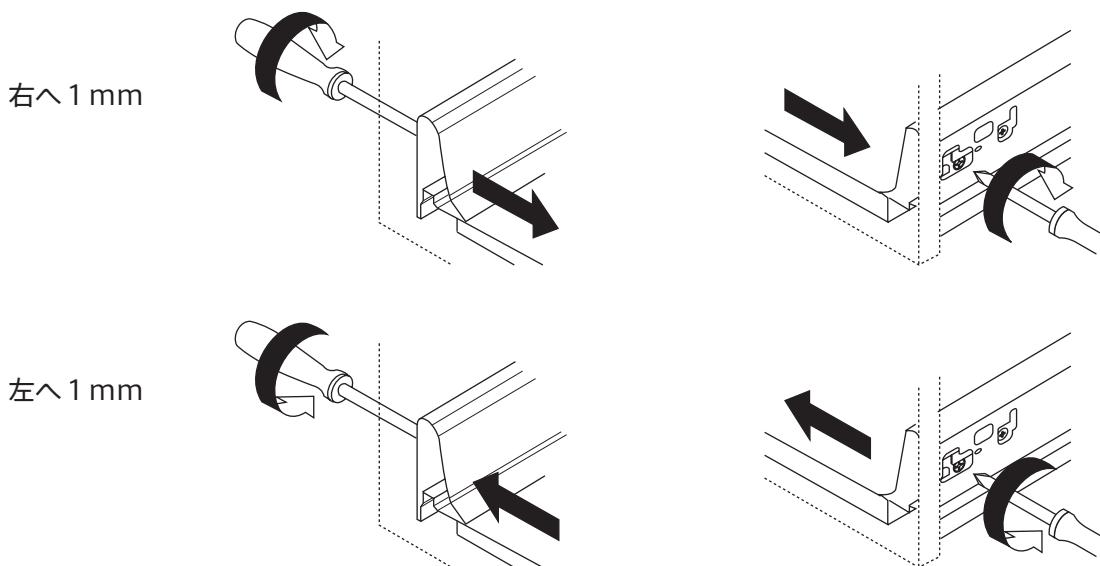
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の上下方向を調整します。
- ・±2 mm調整できます。



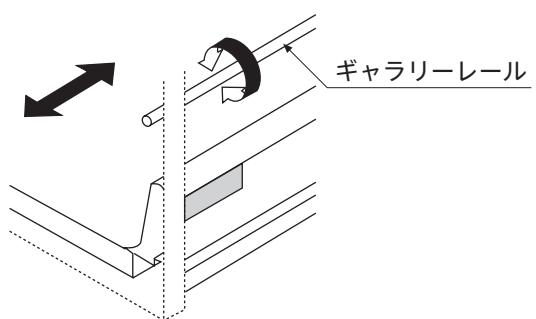
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・±1 mm調整できます。



●傾き調整

- ※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。

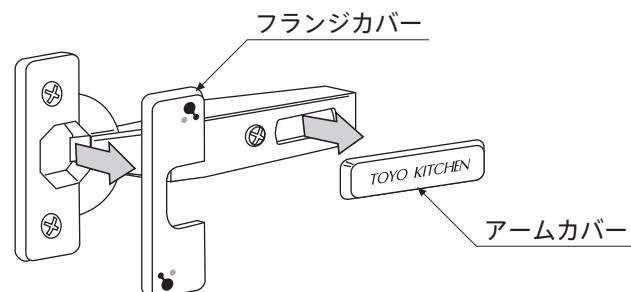


見付板（丁番）の調整

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。

※調整は、トルク 9 kgf 以下で+ドライバーを使用して行ってください。

※調整は、1. 左右方向 2. 上下方向 3. 前後方向の順番で行ってください。



1. 左右方向

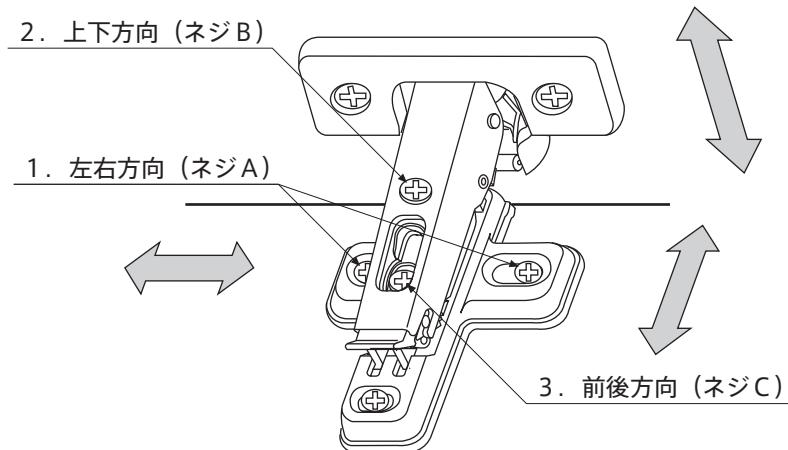
- ・座金のネジAをゆるめ、左右の位置を定め、固定します。

2. 上下方向

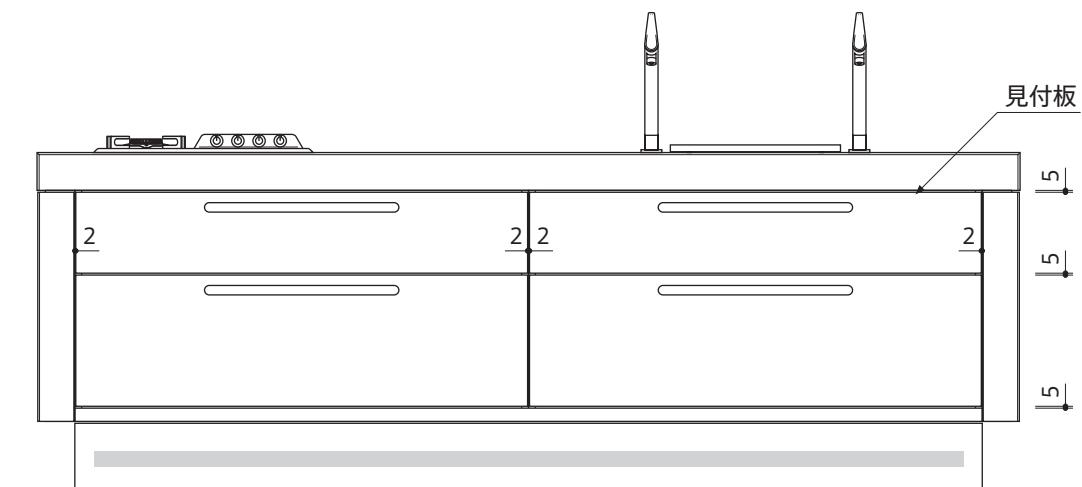
- ・ネジBで調整します。

3. 前後方向

※前後方向は基本的に動かしません。



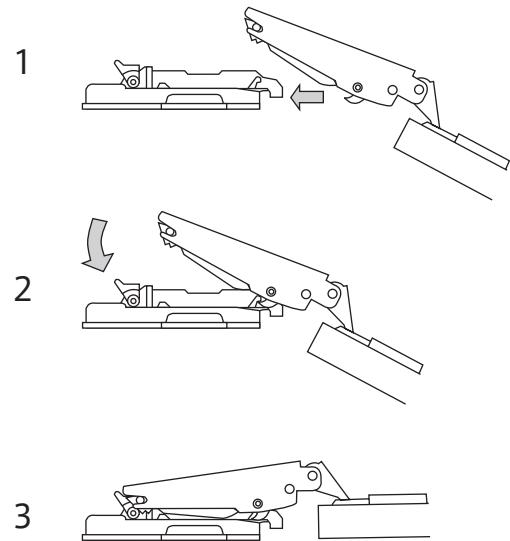
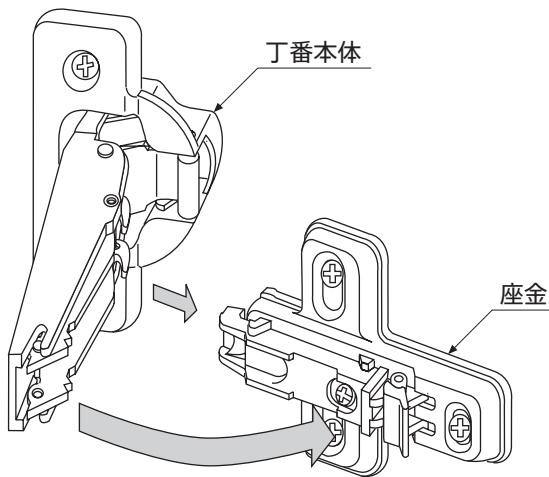
- ・目地を下図の寸法に調整してください。



丁番の着脱

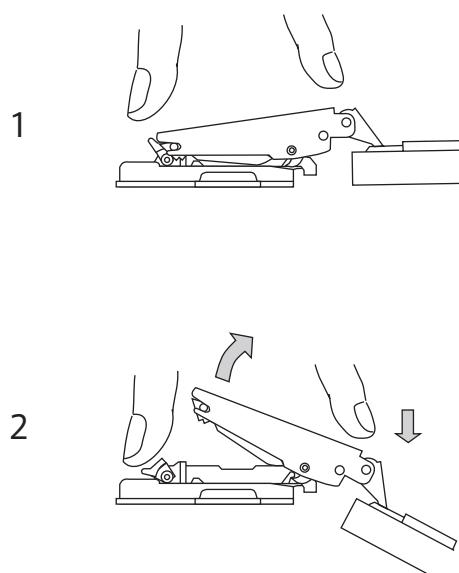
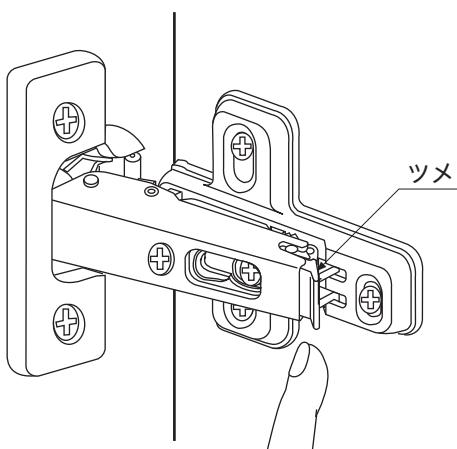
取付け方

- ・丁番本体を座金に取付けます。



取り外し方

- ・本体後部にある「ツメ」を押してください。



加熱機器の配管方法 1

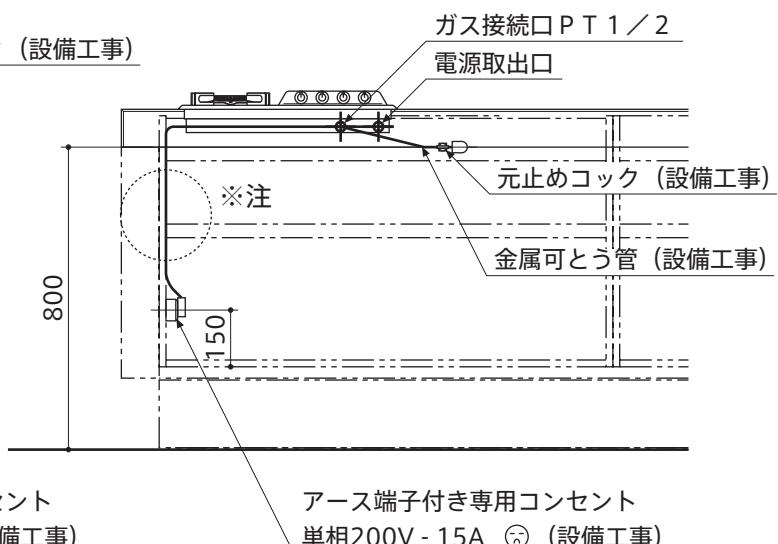
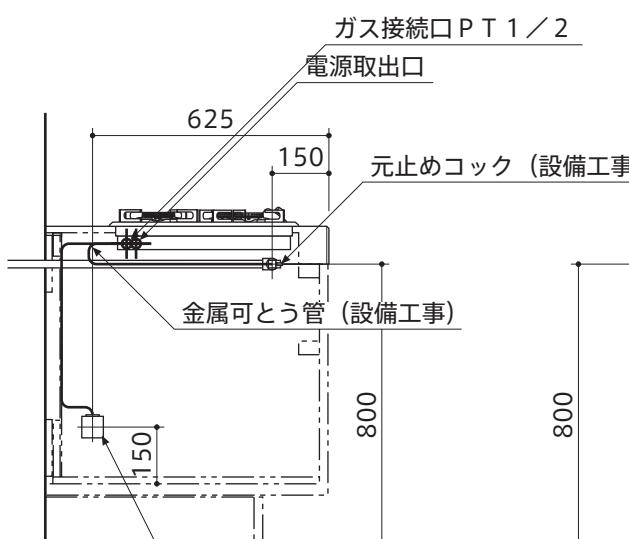
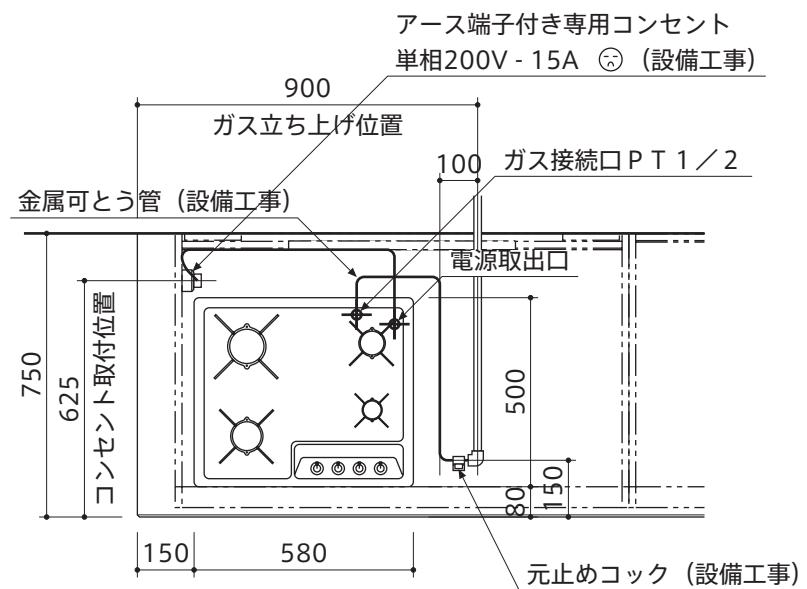
・ 加熱機器の配管を行ってください。

※イラストはRタイプの場合を示す。

【A I - P 5 0 5 8 S G】

※食洗機付きタイプの場合を除く。

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



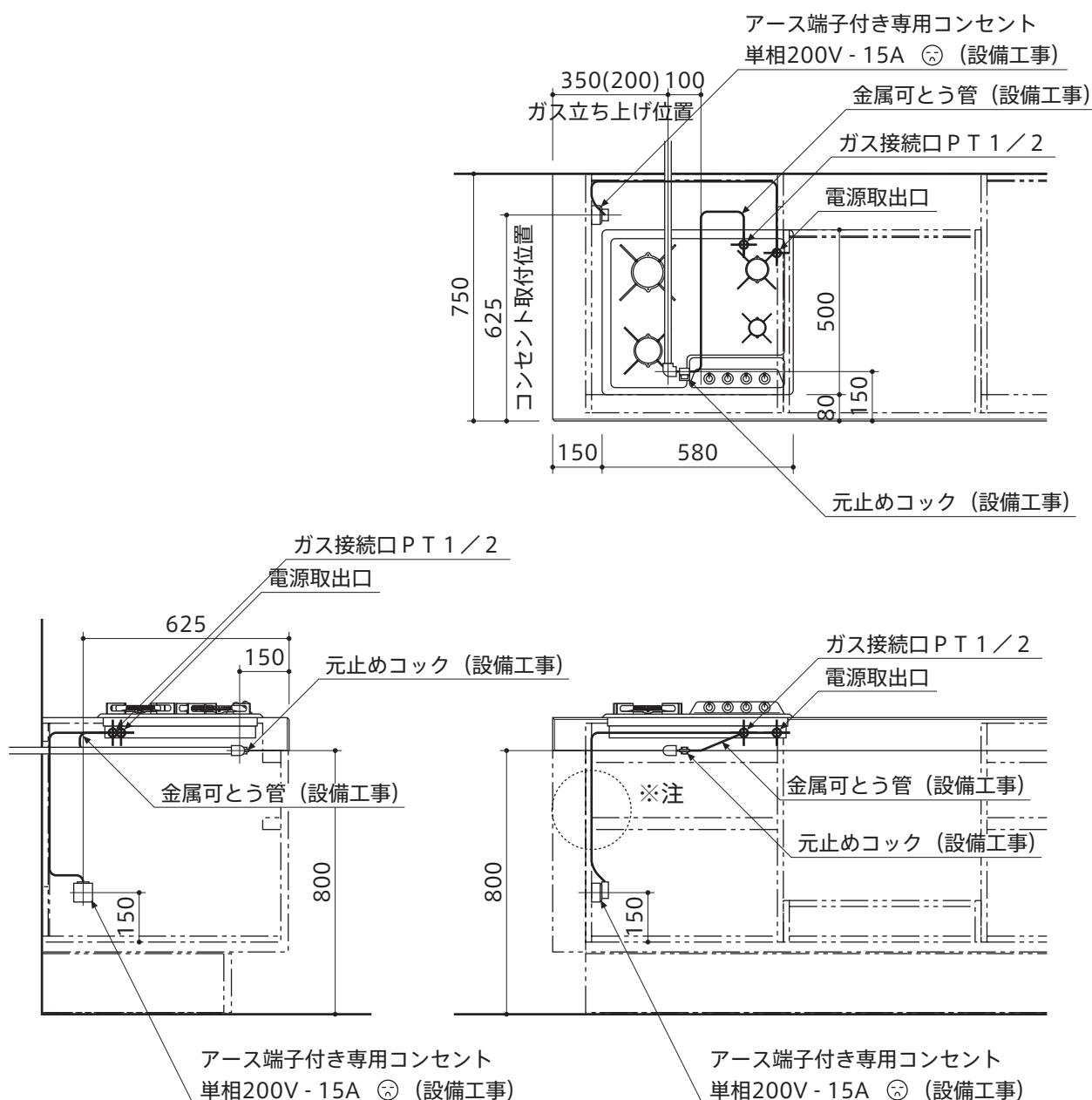
アース端子付き専用コンセント
単相200V - 15A (設備工事)

【A I - P 5 0 5 8 S G】

※食洗機付きタイプの場合。

※ () 内寸法は、W=2300の場合を示す。

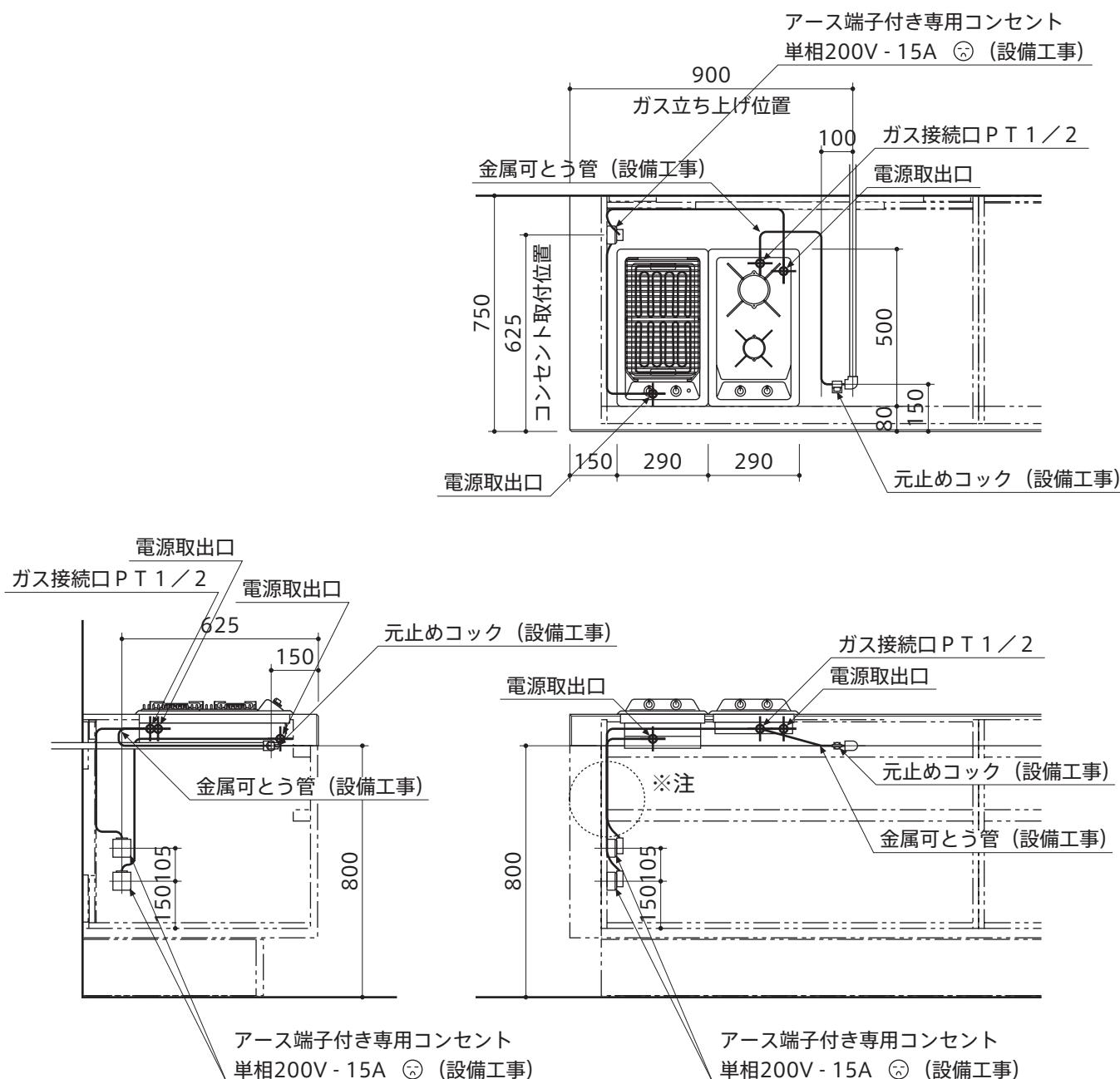
※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



【AI-P5029GE+AI-P5029SG】

※食洗機付きタイプの場合を除く。

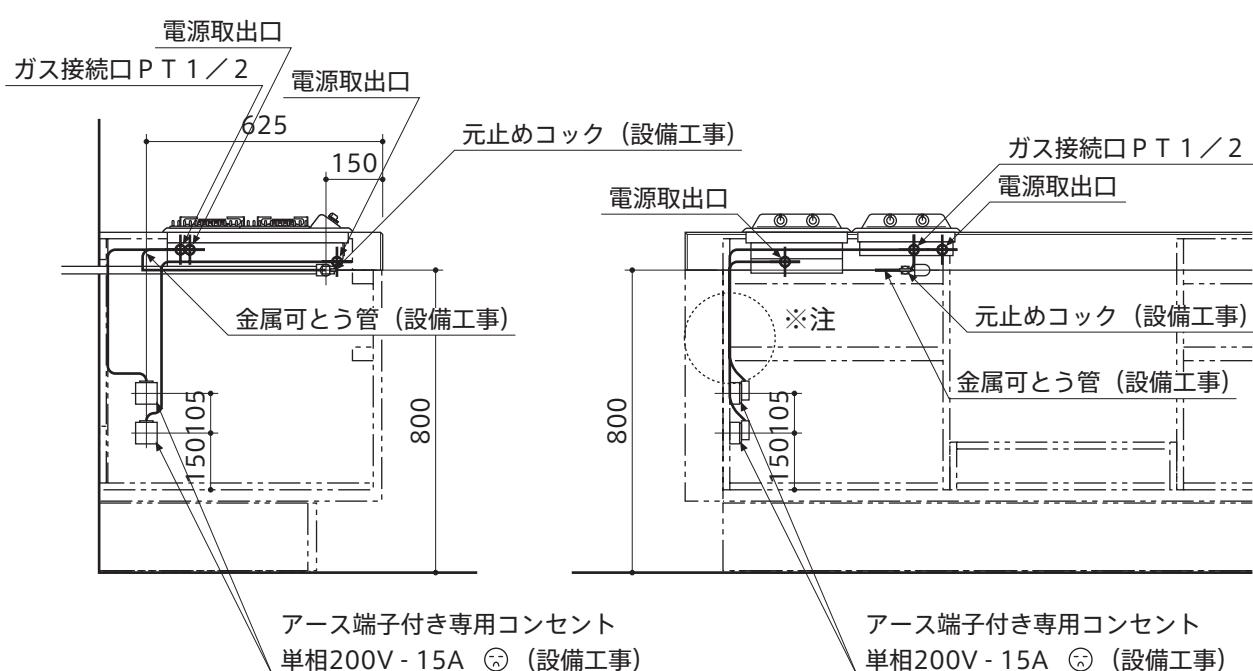
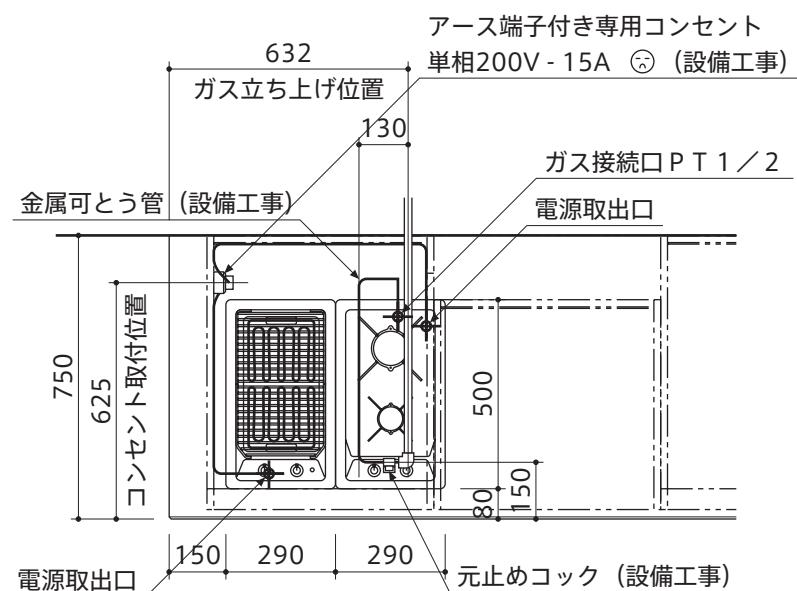
※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



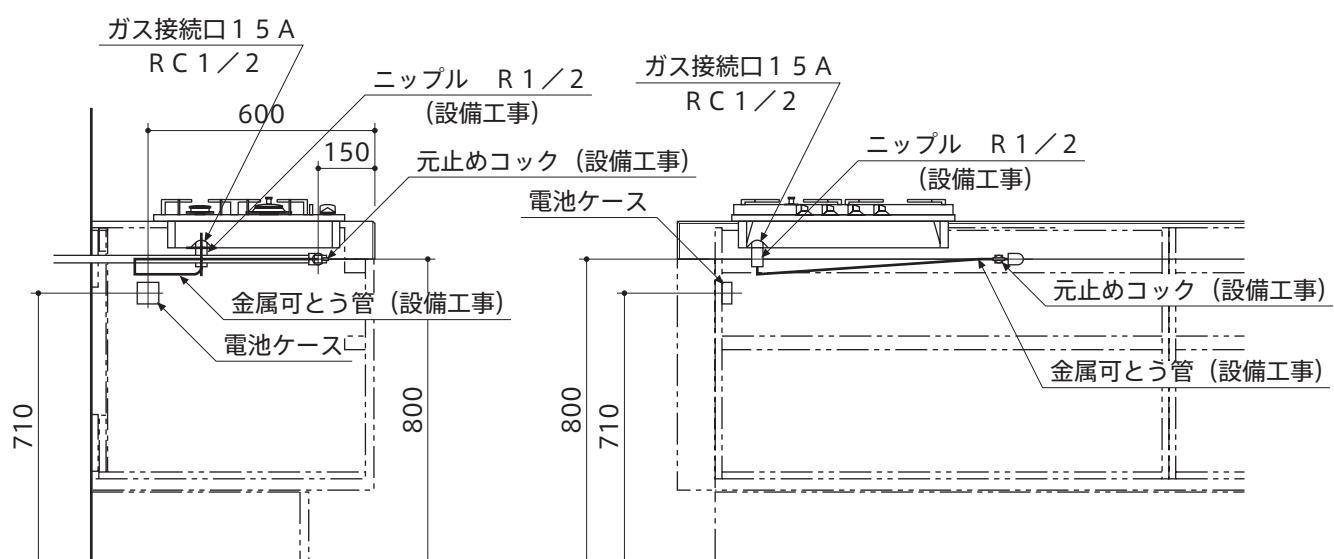
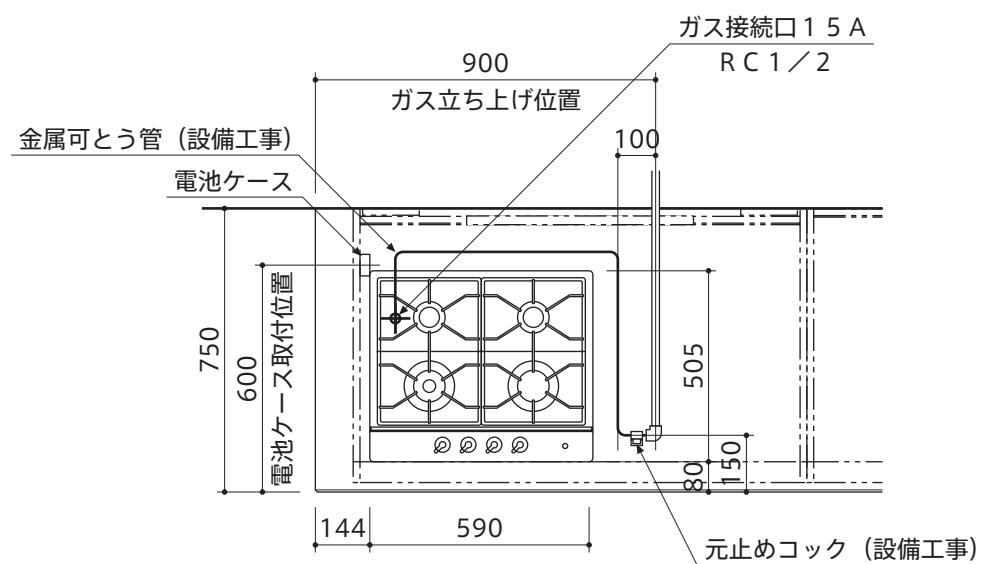
【A I - P 5 0 2 9 G E + A I - P 5 0 2 9 S G】

※食洗機付きタイプの場合。

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。

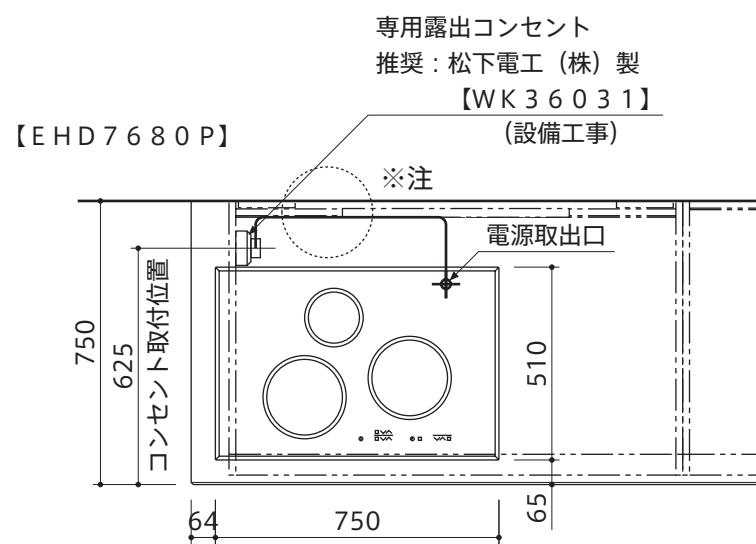
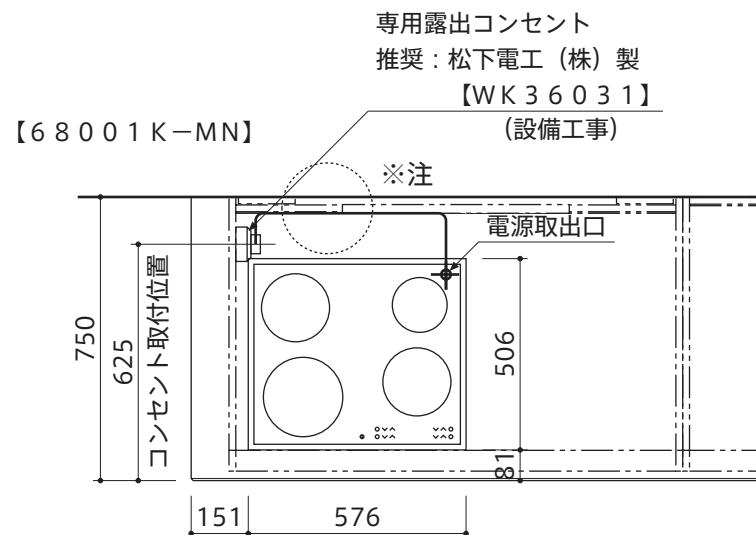


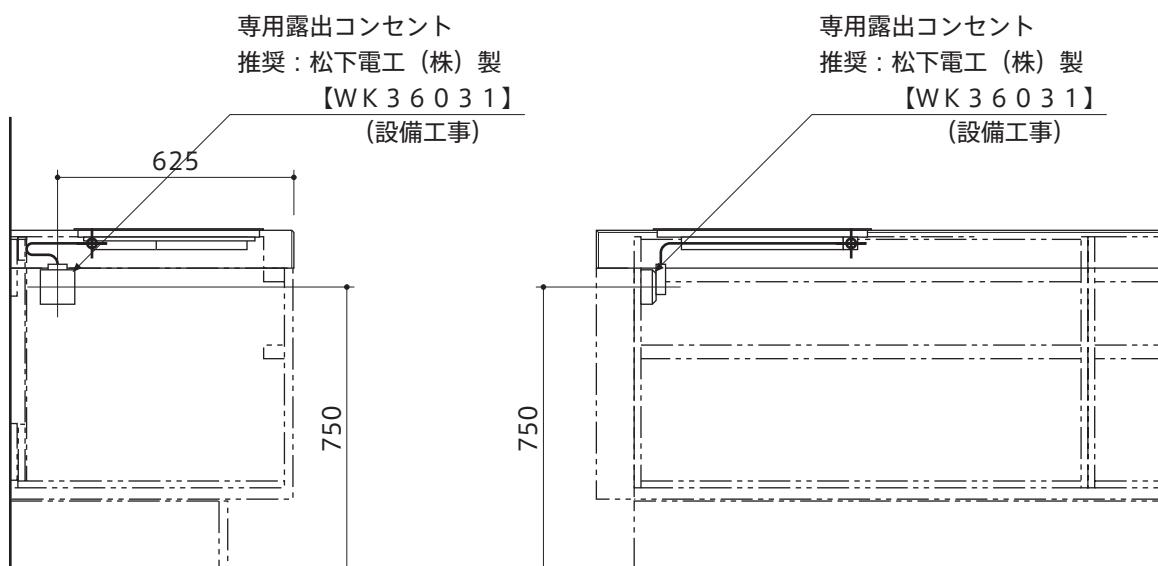
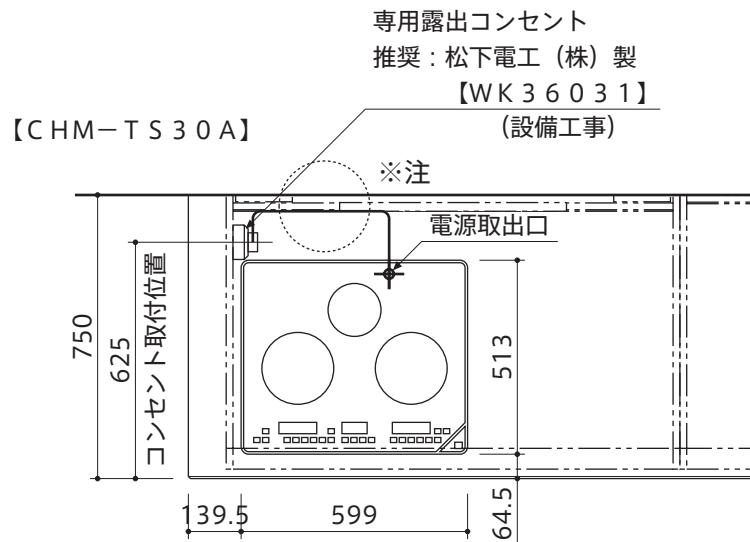
【RD640STS】



【68001K-MN】
【78001KF-MN】
【EHD7680P】
【CHM-TS30A】

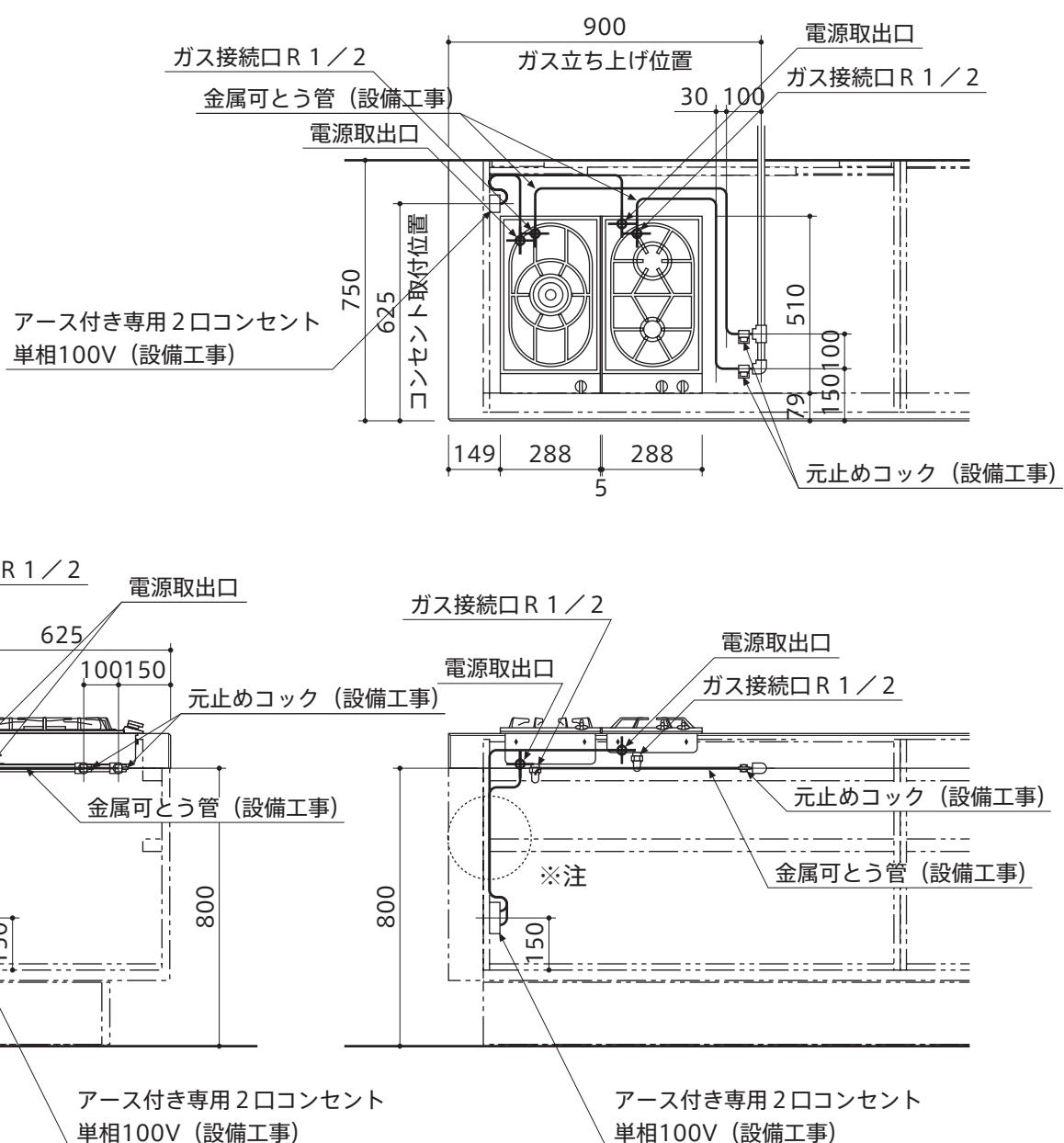
※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で背板に固定してください。





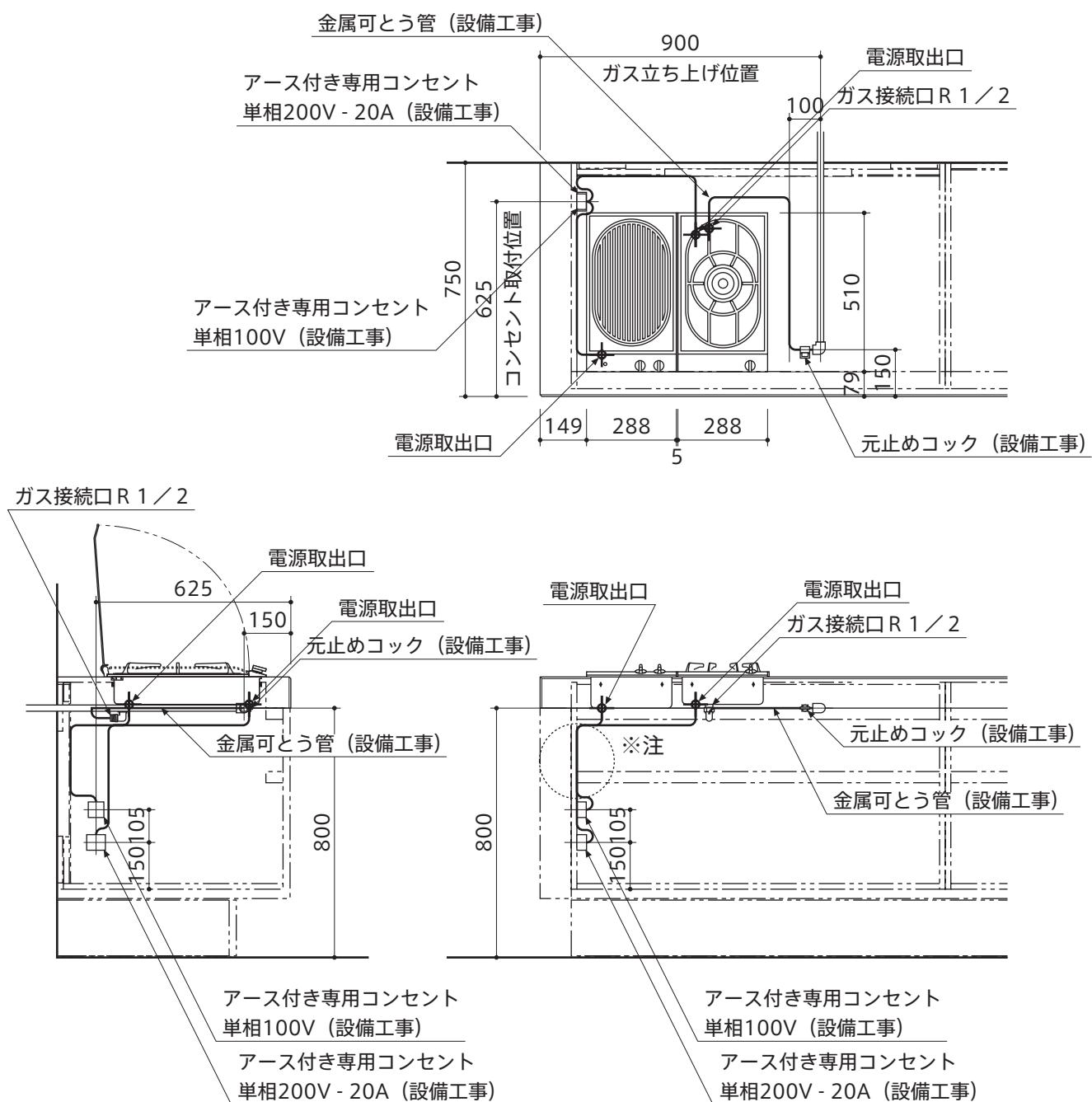
【VG231-211JP+VG232-222JP】

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



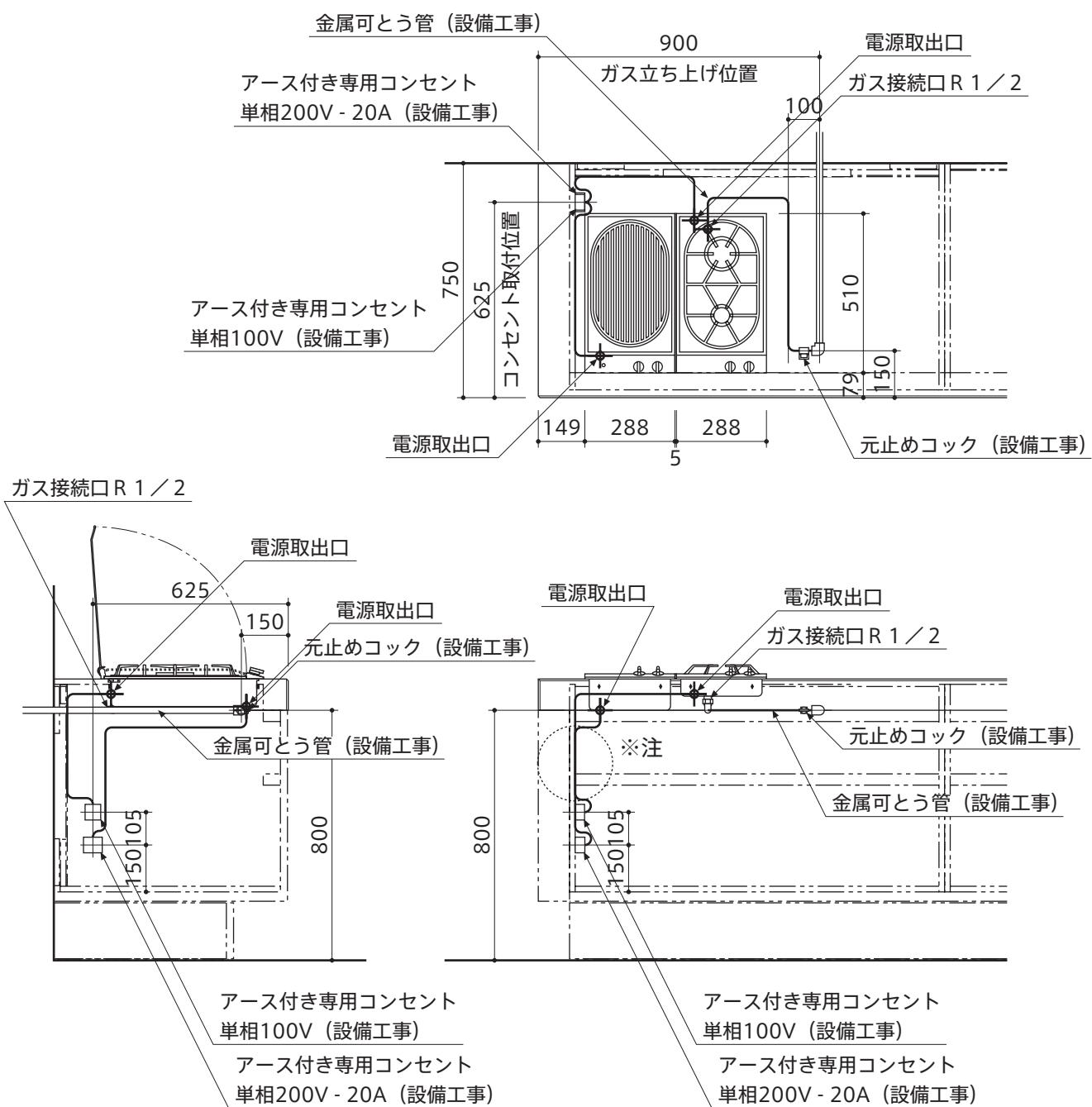
【VR230-412+VG231-211JP】

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



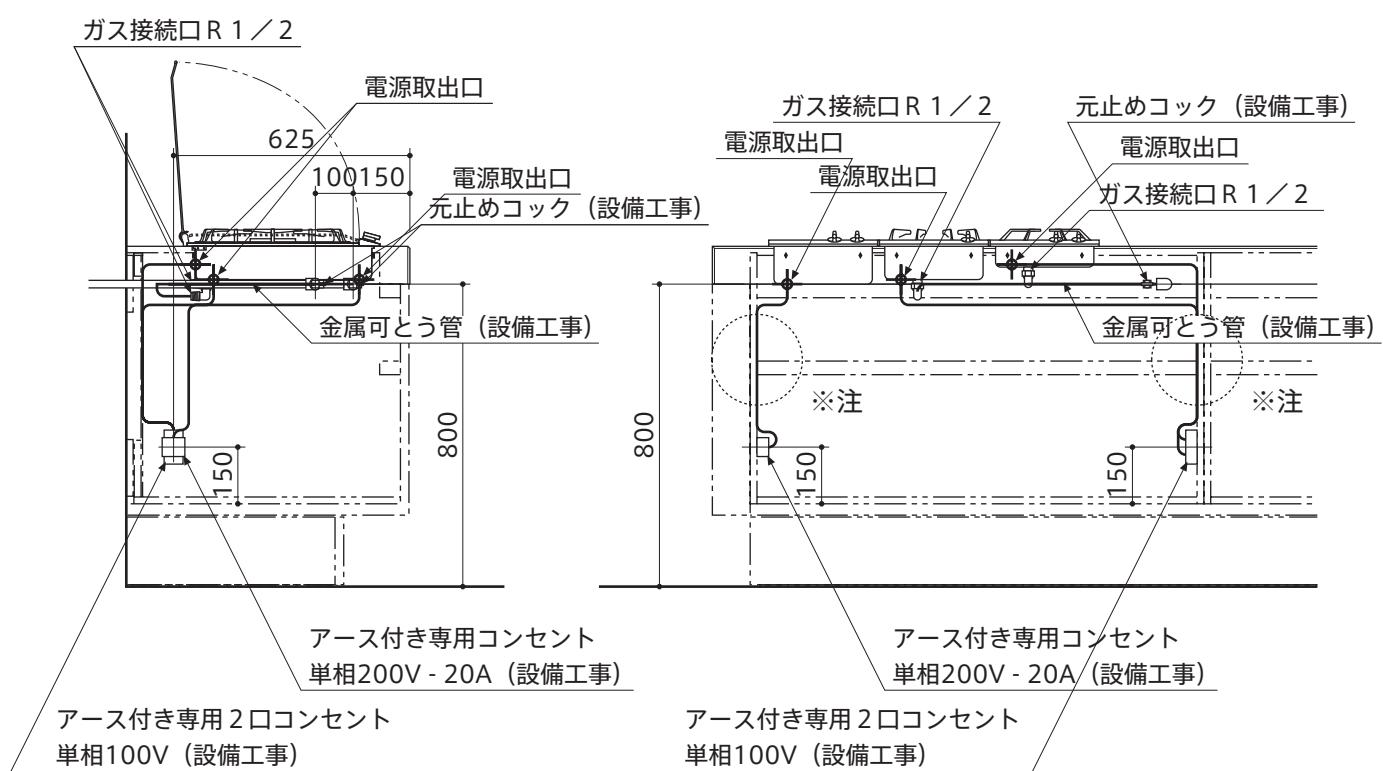
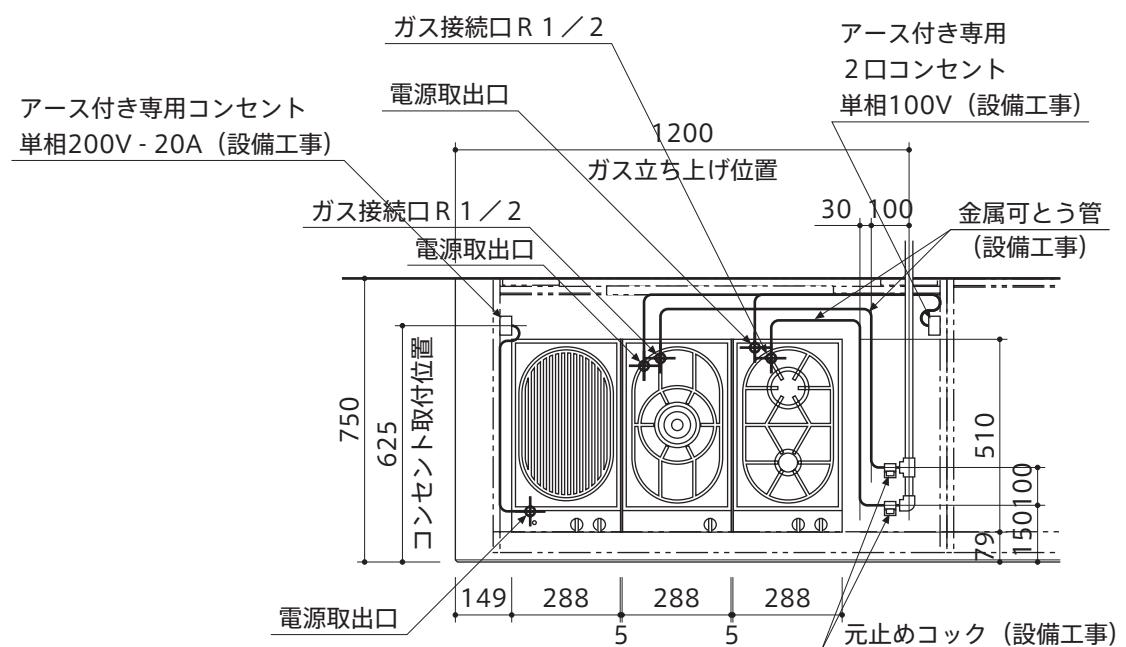
【VR230-412+VG232-222JP】

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。



【VR230-412+VG231-211JP+VG232-222JP】

※注 電源コードは引出しに当たらないように、配線押さえ（市販品）等で側板、背板に固定してください。

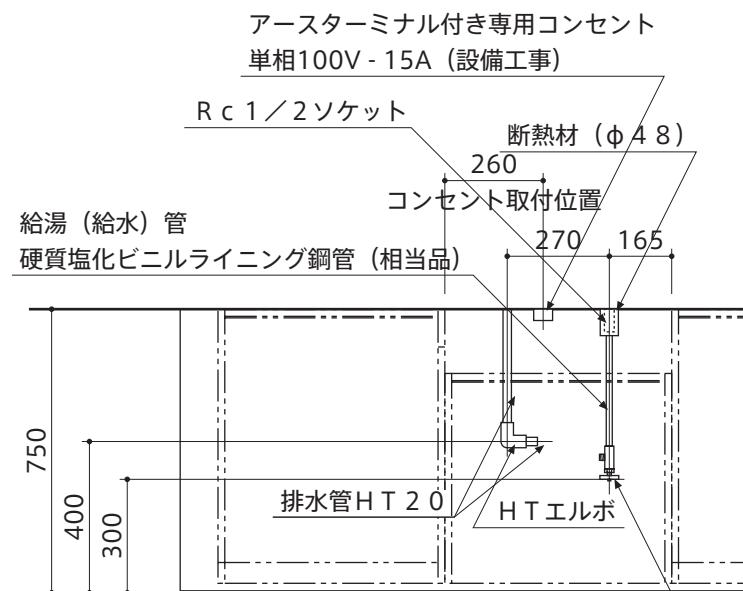


食洗機の配管方法

・食洗機の配管を行ってください。

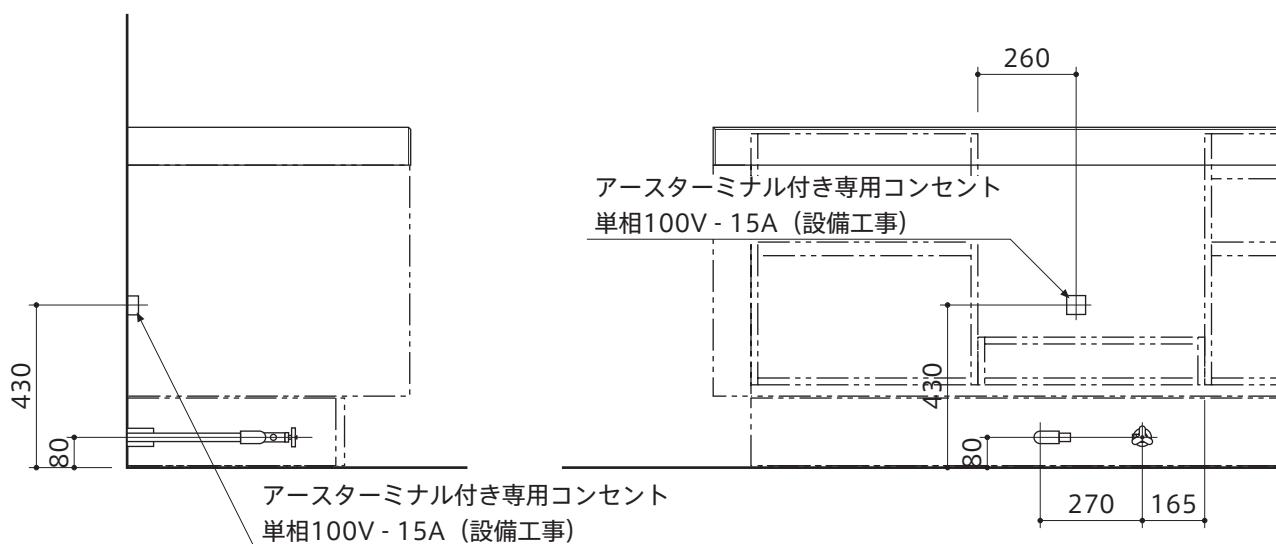
※イラストはRタイプの場合を示す。

【IFS-60FXV1PS1】
【IFS-60FX600SV】
【IFS-60FX600SVD】



アングル型止水栓
(ハンドル式、固定ゴマタイプ)

※必ず固定ゴマタイプをご使用ください。
落としゴマタイプを使用すると、水栓
内でコマが移動し、ゴトゴト音を生じ
る恐れがあります。

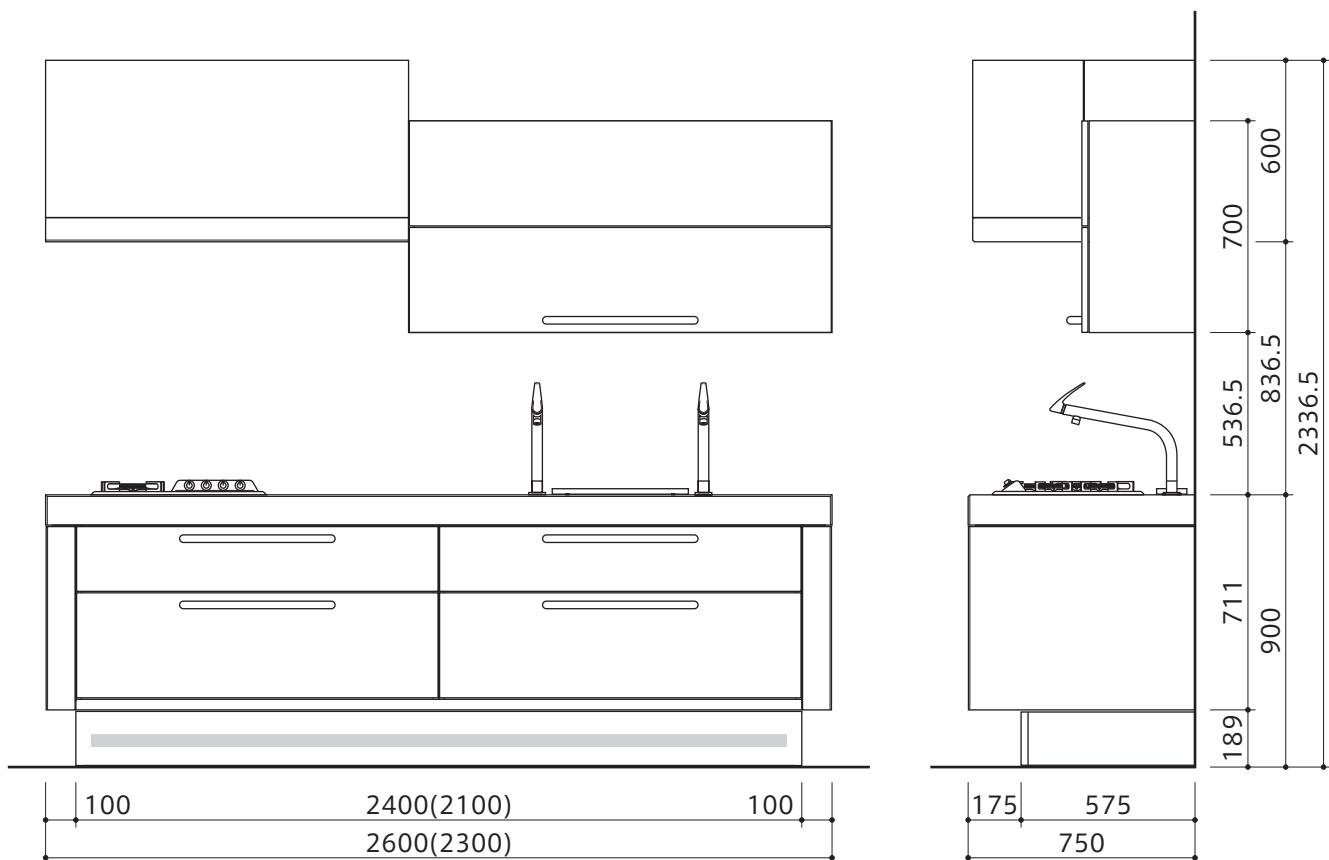


製品寸法図

※イラストはRタイプの場合を示す。

※水栓はシングルレバー混合水栓【U S A G I】 A 2 9 5 2 9 N V L S の場合を示す。

※加熱機器はドロップインガスコンロ A I - P 5 0 5 8 S G の場合を示す。



据付け後の点検・清掃・養生

- 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- トップや扉等、損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- シンク、加熱機器等、破損の恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- 養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F ☆☆☆☆	
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル (P B)	F ☆☆☆☆
	M D F	F ☆☆☆☆
	合 板	F ☆☆☆☆
	接着剤	F ☆☆☆☆

MEMO

MEMO

トヨーキッキンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トヨーキッキン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山6-4-10
<http://www.toyokitchen.co.jp>

ユーザーサポートセンター
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS163
08.12